

あふるる

第 9 号

平成 19 年 6 月

東京都高等学校性教育研究会

目 次

はじめに	会 長	神 取 豊 夫・・・・・・・・・・	1
活動報告	事 務 局 長	山 田 智 美・・・・・・・・・・	2
研修会報告 「教職員が研修センターが認定した研修団体による研修」		柳 瀬 さち子・・・・・・・・・・	3
公開授業報告 「妊娠・出産期と健康」パワーポイントを活用した授業展開		荒 木 卓 也・・・・・・・・・・	6
大会報告 第36回全国性教育研究大会及び 第16回関東甲信越静性教育研究大会		山 田 智 美・・・・・・・・・・	9
東京都性教育研究会 都性研発表会		井 谷 享・・・・・・・・・・	12
投稿論文（1）現在取り組んでいる連載 【エイズ特集】20余年の蓄積より	投 稿 者	田 原 正 之・・・・・・・・・・	14
（2）禁煙のすすめ	投 稿 者	小 泉 功・・・・・・・・・・	38
組 織			
会 則・・・・・・・・・・・・・・・・			42
役員・投稿規定・・・・・・・・・・			43
あとがき	副 会 長	井 口 一 成・・・・・・・・・・	44

はじめに

東京都高等学校性教育研究会

会長 神取豊夫

昨年 1 年間で全国の警察に摘発された出会い系サイト絡みの事件は 1915 件で前年度比 21.1%増でした。全体の被害者は 1387 人で、その 82.8%が 18 歳未満の女子であり、被害者には小学生 4 人、中学生 356 人が含まれていました。全体の 96.5%が携帯電話でアクセスしていました。警察庁は社会の規範が低下している可能性がある指摘しています。

一方、教職員の服務事故について都教育庁が処分公表したもののうち、性にかかわるものは平成 17 年度が 11 件、平成 18 年度が 25 件ありました。

平成 17 年度の処分理由は、児童・生徒に対するわいせつ行為は 4 件であり、そのうち管理職が管理監督責任で処分されたのが 1 件でした。その他、生徒との面談中に聞いた交友関係について不適切な発言、卒業生との性行為、生徒の保護者との性行為、電車内での痴漢行為、通行中の盗撮、未成年者に対するわいせつ行為でした。

平成 18 年度の処分理由は、児童・生徒に対するわいせつ行為は 6 件であり、校内での盗撮は 1 件、生徒との電子メールにかかわるものは 3 件、同僚または派遣職員に対するものは 6 件でした。その他、電車内での痴漢行為、通行中の痴漢、駅構内でののぞき、インターネットや DVD を使ったものなどでした。

平成 17・18 年度を通じて 36 件の処分程度は、懲戒免職 17 件、諭旨免職 6 件、停職 5 件、減給 6 件、戒告 2 件であり、管理監督責任での減給と戒告がそれぞれ 1 件でした。

以上のように、処分程度はかなり厳しくなっていますが、教職員の服務事故で処分者の数は増加しており処分理由は様々です。

児童・生徒を指導し守るべき立場の教職員の性に関する人権意識がかなり低下しています。

また、平成 18 年 11 月に都教育庁が行った学校における性教育に関する調査で、職員会議、学校運営連絡協議会や学校保健委員会において、児童・生徒の性に関わる事項が検討内容になったことがあると回答は中学校・中等教育学校 0%、高等学校 2.1%、盲・ろう・養護学校の小学部 11.9%、中等部 11.9%、高等部 11.4%でした。

同調査によると、都立高等学校のうち約 70%の全日制課程と約 50%の定時制・通信制課程において、性教育が教科等の指導計画に位置付けられていますが、学校における性教育に関する課題は多様化し、今後の性教育は児童・生徒を対象にするばかりでなく、児童・生徒を指導する立場にある教職員や、子どもを守る立場にある大人へも働きかけていく必要が出てきました。

性犯罪にはマスコミも厳しく取扱っていますが、世の中の性教育に対する取組が縮小し意識が薄らいでいるなか、研究活動への参加者が減少し、学校関係者を中心とした性教育の研究を活性化していくことは困難な状況になっていますが、活動を継続していく意義は大きいと思います。

平成 18 年度から高等学校性教育研究会では、新規事業として教職員研修センターの認定研修を夏に実施しています。平成 19 年度は、参加対象を高等学校に限らず、幼・小・中・盲ろう養護学校や広く関係者にも広げ、児童・生徒の性に関わる指導とともに、教職員をはじめ大人の性に関する人権意識高揚など課題解決に取り組んでいきます。

活動報告

1. 総会

平成18年6月23日(金)

神楽坂エミール

(1) 平成17年度事業報告、会計報告と承認

平成18年度役員改選

平成18年度事業計画、予算承認

(2) 講演

講演会

テーマ

「健康教育を基盤としたライフスキル教育」

—人間関係を築く性教育—

講師 石川 哲也 氏(神戸大学教授)

2. 役員・理事研究協議会

4月20日(金) 都立城東高校

*総会の諸準備・研究協議等

5月13日(土) 都立世田谷泉高校

*研究紀要制作・研究協議等

9月 4日(月) 都立千歳丘高校

*研究授業についての検討・研究協議

12月 8日(金) 都立三田高校

*講演会について・研究協議等

3月 6日(土) 都教職員研修センター

*今年度の総括及び次年度の課題設定等

3. 研究活動

5月26日(金) 都立六本木高校

研究協議会

*今年度の活動、行事予定について

8月 7日(月) 都立三田高校

～9日(水)

*「教職員研修センターが認定した研修団体
による研修」開催

【講師】7名

8/7 ①東京都青少年・治安対策本部

青少年育成総合対策部健全育成課

課長 松坂 規生 氏

②練馬区立総合教育センター練馬相談室

筒井 邦夫 氏

8/8 ①東京都教育庁指導部指導企画課

統括指導主事 長塚琢磨 氏

②東京都高等学校性教育研究会

会長 小泉 功 氏

8/9 ①東京都産婦人科医会常務理事

産婦人科医 東 哲徳 氏

②都立向島高等学校

副校長 井口 一成 氏

都立農芸高等学校 養護教諭

柳瀬 さち子 氏

11月17日(金) 都立上水高等学校

研究授業「出産と健康/PCを使用した
授業展開」

2月 5日(月) 都教職員研修センター

講演会 「エイズ記事20年の蓄積より」

都立墨田川高等学校 田原 正之 氏

4. 大会参加

8月 2日(水)～4日(金) 神戸市

第36回全国性教育研究大会

11月11日(土) 長野市

第16回関東甲信越静性教育大会

11月30日(木) 新宿コズミックセンター

東京都幼・小・中・高・心性教育研究会
研究発表会

発表者：都立三田高校 井谷 亨 氏

認定講習会報告

都立農芸高等学校 養護教諭

柳瀬 さち子

期日 平成18年8月7～9日

場所 都立三田高等学校 408教室

テーマ 「高等学校における学習指導要領
に基づいた性教育のあり方、進め方」

都の「教職員研修センターが認定した研修団体による研修」という形での研修会が、三日間にわたり開催された。

<8月7日(月)>

東京都青少年・治安対策本部 青少年育成総合対策部健全育成課長の松坂規生氏による「青少年の性に対するかかわり方」の講演。警察勤務時代の青少年に接した中の経験からのお話。

昔は場所に行くことで事件に巻き込まれていたが、今は、サイトなど情報が最初で、その後、渋谷とか原宿とかに行くようになる。情報が人に与える影響が問題。脱感作、オペラント条件付け、つまり同じことの繰り返しで慣れてしまったり、やっていることを真似してしまう。いかに早くセックスするかとか、多くの人とするなどが載った雑誌が出版されている。性行動そのものが悪いのではないが、メディアに踊らされた性行動をとることが、高く評価されている。さらに、高校生時代は他の人たちの行動に流されることが多く問題。

男子は、性暴力や強制わいせつなど、ゲーム、アダルトビデオ等メディアの影響が大きい。女子との付き合いに歪な形が表れたり、女子は征服する対象であったり、セックスの多さを自慢するなどがある。しかし、立ち直りは容易。女子は、性風俗産業など、誘われやすく、一度はまると高額が得られ、抜けにくい。立ち直りが非常に難

しい実態がある。

セックスと薬物、昔の女子の非行はこれを抜きには語ることができなかったが、門限があったり、家の電話の頃は親の目があったりでハードルが高かった。今は、出会い系サイトなど携帯電話の普及で、誰でも、簡単に入り込んでしまえる。情報の問題も含め、性非行に入らないような指導が重要だと考える。

社会の有り様がもろに高校生に影響していることに、できるところから少しでも、という気持ちにさせられました。

続いて、筒井邦夫前高性研会長より「相談活動と性教育」

相談を受ける側の心構えとして ①パーソナルスペースを確認する。②言葉以外の表情や視線、仕草などの動きを注意深く観察する。(不安の兆候) ③相談を受ける側の態度が相談する側に影響を与える。(不安↑) ④声の大きさや抑揚、調子(皮肉・機械的)によって、背景にある気持ちがでる。

以上の4点を常に留意しながら相談活動をしていきたい。ロールプレイの疑似体験いろいろなパターンを演じあうなど、相談者がその気になって相談できる場や態度、言葉などを研鑽していくことが大切。

現在、相談活動に関わっている立場からの貴重なお話であった。

<8月8日(火)>

都教育庁指導部指導企画課統括指導主事長塚琢磨氏による「性教育の手引き～高等学校編～の解説及び活用について」の講演。

学校の性教育は、人間形成の核となる部分を指導するもので、例えば、性交の指導では、物理的な部分だけではなく、心理的、社会的を含めないといけないのではないかと。指導する先生としては、次の4つの機能が必要。ひとつは医者機能、立場で、つい

でよい方向を示す易者の立場、さらに正しい知識を指導する学者の立場、最後が役者の立場。

厚生労働省の子ども家庭総合研究事業の調査結果では、性交を開始してよいと考える時期の質問に、「本人の自由」が、40代の女性22,5%、10代の女子65,8%。この結果から考えると、意思決定の力と行動選択の力を育てる教育が大切。

性教育は、人間の成長の過程（発達段階）において、直面する性に関するさまざまな課題に対して、適切な意思決定や行動選択ができるようにするライフスキルである。子どもたちを取り巻く環境、生活様式、多様な価値観、性感染症や若年妊娠の増加など性教育の必要性が高い。時代を知り、生徒を知り、学校を知った上での性教育。

ライフスキルは日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に処理するために必要な能力と定義され、5つに分類される。

ライフスキル

- ・批判的思考・創造的思考
- ・効果的コミュニケーション・対人関係
- ・問題解決・意思決定
- ・自己認識・共感性
- ・情動への対処・ストレスへの対処

続いてプレインライティングの演習。実際にやってみると、いろいろなアイデアが出されることに驚いた。授業の中に取り入れて実施してみたいと思った。

性教育は保健学習で実践力を図りながら、関連教科や特別活動、総合的な学習の時間、道徳などで広がりや深まりが成されていくことが大切。学習活動の後には評価をして、より良い指導への改善、修正がされ、それがまた、学習へのねらいにフィードバックされることが重要である。最後に、実践力

を見取るための工夫として五つの提示があった。

- ・健康行動目標を具体的に設置できる。
- ・複数の選択肢を自ら設定できる。
- ・それぞれの選択肢の長所、短所を考えることができる。
- ・自分に最も適した選択肢を選択できる。
- ・目標達成に近づけるように選択した行動を持続できる。

今日の二つ目は、小泉功都幼・小・中・高・心性教育研究会長から「東京都における性教育の実態と性教育の課題」

高校生の性に関する実態調査結果から、全国、福島、東京をみると、性交経験については差がない。人工妊娠中絶の見解では、学年が上がるにつれ、「生むべき」が増加、どう分析すれば良いか？東京は中絶否定が減少。愛し合っている→「心変わりすることはない？」。

好きだから仕方がない！→「本当に？」。現在の相手との性関係まで1ヶ月未満が60%。対人関係の指導が必要、とにかく10代の人工妊娠中絶を止めたい。

エイズについて、世界で6500万人。日本では、1日に1人のペースで増えている。性的接触と薬物静脈注射が多い。コンドームの使用は日本では減少。エイズは90%以上が知っているが、クラミジアは2年で50%が「知らない」。性の情報を得るのは、友達がダントツ。性暴力、性被害は意外と相手が交際相手であることが多い。

命の大切さや自尊感情を育成するなど課題はたくさんあるとのお話に、数字で見せられて愕然とする部分もたくさんあった。

<8月9火(水)>

東京都産婦人科医会 常務理事東哲徳氏による「生徒の生に関する健康問題と産婦人科医との連携」の講演。

6年前から学校の要望が高く、区の中に何人かずつ相談を受ける協力医体制を作ってきて活動してきた。現在、東京都では1年間で2千人弱の中絶、これを限りなく0に持っていきたい。

人間の性の礎は、精神性（愛、愛しさ、慈しみ、思いやり等）・身体性（快楽、快感）・生殖性（自己認識と維持願望）であるが、現代は精神性の不足、欠如さらに、身体性の面でメディアでは心ない取り上げ方をしている。セックスは科学的に計量できない感覚や質、依存症の一つと言える、つまり自己満足のはけ口。性の抑制が強いほど反発→自己規制不可能→法律を犯してでも実行する→痴漢・強姦・一部殺人にいたる。

【氏の病院での十代の性感染症の特徴】

- ① 喫煙経験者が多い（75%）
- ② 親との関係はさほど悪くないが親に知られることを極端に恐れる
- ③ 避妊の知識はうっすらと程度、知識と行動のアンバランスが極端
- ④ 複数のパートナーの存在
- ⑤ アルバイト経験者が多い
- ⑥ 性教育にあまり興味がなかった

【出会いから妊娠まで】

- ① 性格より見かけ
- ② 一種本能的行動
(理性では判っているつもり)
- ③ 付き合う期間が短い（平均1, 5月）
- ④ 自己認識、自己管理の低下、あるいは欠如
- ⑤ セックスによる自己保身
(相手を引き付けたい)
- ⑥ 本人はまったく予測していない

現代は、知識・情報の手段が一番が、インターネット、ついで友人。バーチャルで自己形成している。個性も大切だが、社会性、社会化の重要性を考えたい。家庭は、

学校は、行政は、どこまでできるか、やるべきか、何ができないか。行政・学校・医師会三位一体で組織的、計画的にしていくなければならない。

煙草、酒が減れば、性感染症、中絶が減ると思われる。性教育や薬物乱用防止教育・禁煙教育など必要性はみんな分かっている。協力しながら進めていきたい。

東京都の産婦人科医会の先生方が中心になって作られた CD-ROM の紹介もあり、各学校の状況に合わせ部分的に活用できるのではないかと思った。

最後に、学校の立場から、都立向島工業高校の井口一成副校長と都立農芸高校の柳瀬さち子養護教諭から、実際に学校で性教育を進めていくためにはどうしたらよいか提案がされた。ひとつの方法として、学校保健委員会やそこで提案される学校保健計画に性教育を盛り込むことで、保護者や学校医、地域の方に意見をもらえ、さらに理解をしてもらえ、有効な場にできるのではないだろうか。

この三日間の研修で、性教育の重要性が改めて認識された。学校もいろいろな制約の中で教育活動をしている。しかし、生徒は日々成長していることを思うと、一歩ずつできるところから進めていかななくては、とにかく、行動が大切だと発憤させられた研修会でした。

『妊娠・出産期の健康』（公開授業報告）

1 公開授業概要

東京都立上水高等学校
教諭 荒木 卓也

公開授業内容

日時 平成18年11月17日（金）
5時限（12:55～13:40）

場所 東京都立上水高等学校
第2パソコン室

授業者 東京都立上水高等学校教諭
荒木 卓也

対象 2年次F組
（男子13名 女子27名）計40名

教科・科目 保健体育・保健

2 単元の目標

高校生期は、身体的に急激な成長を遂げ、身体は大人へと近づいていく。精神的部分では、好奇心にあふれ多くのことを吸収しようとする。しかし、心身のバランスがとれず、不安定になることがある。また、異性に関して興味・関心を持つ時期でもある。この時期に男女について、結婚・妊娠・出産などについての知識を学習し、適切な行動選択（性行動を含む）がとれる態度を養う。

3 本時のねらい

『妊娠・出産期の健康』は3時間に配分し計画を立てた。

- ①男女の生殖機能について
- ②受精・性の決定・妊娠の成立
- ③妊娠～出産まで（本時）

本時は3時間目である。生徒たちは妊娠・出産に関して、今まで保健以外でも学習したことはある。本時は教科書・テキストばかりでなく、パワーポイントを使用した。胎児の成長をさらに深く理解するには効果的な方法であると考えた。

そこで

- ☆生命の尊さを知る。
- ☆妊娠から新生児の誕生までのしくみについて理解する。
- ☆妊娠・出産期の健康について理解する。

以上3点をねらいとした。

4 学習形態

①男女の生殖機能について②受精・性の決定・妊娠の成立の2時間はテキストおよびビデオを使用し、また本時はパワーポイントを使用した。排卵・受精など体内での現象は文章だけでは理解が困難である。映像を使用することで人体の機能を知ることができ、興味・関心も高まる。また、昨年度の保健でパワーポイントを使用してレポート発表の経験があるということもあり、この形態で試みた。

5 まとめ

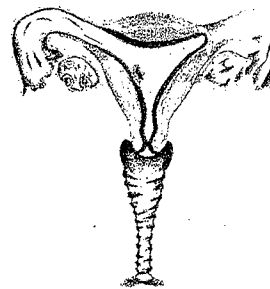
全体を通してパワーポイントを使用したことにより生徒が前向きに取り組む姿勢が見られた。現在の高校生はPCを使用することにも慣れている。保健授業では映像も含め、より具体的な教材の研究が必要であることを痛感した。

高校生期は異性に対し、興味・関心が高くなる。この時期に性に関して正しい知識と適切な意志決定・および行動選択ができる能力を身につけることが大切である。『妊娠・出産』を学習することから男女の心身の機能を知り“生命の尊さ”まで指導していかなければならない。“性”と“生”を保健授業ばかりでなく養護教諭・各教科担当教諭を含め、学校全体での取り組みを今後、検討していかなければならない。

妊娠から出産まで

平成18年11月17日(金)

東京都高等学校性教育研究会研究授業



受精卵が着床
↓
妊娠の成立
妊娠すると……

()

妊娠の期間

()週()日

出産予定日とする。

最終月経日の第1日を起点とする。

妊娠初期(15週ころまで)

妊娠10週

★身長 約()cm

★体重 約()g

★男女の区別がつく

★心臓・腎臓の発達

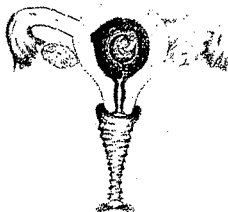
ほぼ人間の形となる。

(胎児)

()

()

喫煙・飲酒による影響が大きい。
薬の服用についても医師と相談



妊娠初期

妊娠14週目

★身長 約11cm

★体重 約120g



妊娠中期(16～27週)

妊娠20週

★身長 約()cm

★体重 約()g

★体のつきあいのとれる。

★髪の毛・眉毛・まつ毛などが

生え、顔がはっきりする。

★胎児は

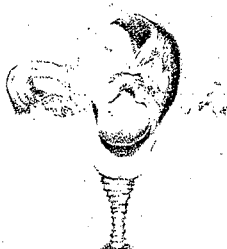
()→

()→

()

()に入る。

規則正しい生活
適度な運動



妊娠後期(28週以降)

妊娠32週

★身長 約()cm

★体重()g

★肺機能が整う。

★皮下脂肪がつき、しわも伸びて皮膚がきれいになる。

()に注意

定期的に妊産婦健康診査を受診のこと。



妊娠後期



妊娠40週目

☆出生身長平均
() cm

☆出生体重平均

女児 () g

男児 () g

出産と新生児の誕生

- ①陣痛
- ②子宮口が開く
- ③破水(羊膜が破れ羊水が排出)
- ④胎児が産道へ進む
- ⑤子宮口から胎児が出てくる
- ⑥産声・自立呼吸(胎盤循環の停止)
- ⑦新生児の誕生
- ⑧胎盤が体外へ
- ⑨出産完了

『産む』とは

『生む』とは

出産することとは



関東甲信越静性教育研究大会報告

都立世田谷泉高等学校
山田 智 美

大会テーマ：

「性のことがらに対して
適切に自己決定できる子の育成を目指して」

長野県は関東甲信越静性教育研究大会開催にあたり、組織発足から始まり、研究、運営と今回の大会の成功を目標に大変熱が入っていたように感じられました。今までとは違った視点の研究発表も多く、私の目には新鮮に映りました。学校教育だけでなく、様々な『連携』の実践報告が、性教育の諸問題に対して前向きに取り組んでいるように見受けられ、同時に課題を投げかけられているようにも感じました。

今回は、個人的に勉強のためと思って記録したメモをもとに、関ブロの概要を報告します。

【午 前】

1 基調講演

『性教育における現状と課題～実効性と社会的評価～』

新潟大学教授 皆川 興栄 氏

- ・性は、人と人との最も深い結びつきであり、生き方や考え方に深く関わってくると考えられていた。しかし、現代では社会の大きな変化に伴い、そうでもなくなっている現状がある。大人も子どもも「何でもある」の傾向が顕著である。
- ・退化しているものがあるのではと思われる。ITなどについては取り入れるのが早い。コミュニケーションが希薄になることで退化していくものが増えていく。人間らしさ、人間性が薄れる反面、社会では必要とされる要素である。
- ・HIV感染（10～20代）、人工妊娠中絶、クラミジアは6倍増に増加、初交年齢の早期化、パートナー数の増加が原因ではないかとされている。10代は過去に5人以上が40%弱であり、健康や生命に関わる性の問題は、現実の上に立って対策を立てる必要がある。
- ・早寝、早起き、朝ご飯（家族と一緒に）は学力向上、人間性、性道徳の高まりと関係しており、性に抑制的であるという結果となっている。日常生活の

関わりは大きいと考える。

- ・性教育は道徳的に行われるべきではないと、WHOなどが提言をしている。
- ・初経教育は、ニーズであり、デマント（需要、要求、請求）である。

《若者が求める性知識》

- ①危ないことは危ないと・・・88%
- ②恥ずかしがらずに堂々と・・・87%
- ③教える人自身の経験は聞きやすい・・・78%
- ④相談できる相手や病院の連絡先の知識・・・77%
- ⑤中高生はセックスしないという話はしらせる・・・62%
- ⑥何度も性教育する必要がある・・・55%
- ⑦コンドームの正しい使い方を教えて・・・50%
- ⑧男女は別々に教方が良い・・・28%

（厚生労働省 エイズ研究班調査）

- ・スウェーデンでは「ユースクリニック」といって、教師・カウンセラー・医者などがひとつの施設内に配置され、総合的に診断、問題解決にあたっている体制がある。

《WHOの5セット10スキル》

自己理解 問題解決 共感性 創造的思考
対人関係 クリティカル思考
効果的コミュニケーション ストレス対処
意志決定 情動対処

*バランス良く教育されることが大切。ライフスキル＝能力である。

《ライフスキル トレーニングフォーマット

6ステップ》

- ①導入
- ②安全な環境作り
- ③スキルの観察
- ④スキルの練習、強化
- ⑤フィードバックセッション
- ⑥宿題（日常生活の活動）

【午 後】分科会

「性教育の縦と横の連携を深めるにはどうしたらよいか」のテーマで実施しました。校種間の『縦の連携』、各機関の特性を生かした『横の連携』の2つの分科会に分かれ研究協議を行いました。自身は『横の連携』

に興味があり、参加をしました。

1 地域社会の視点から

駒ヶ根市男女共同参画推進室

室長 北沢 みえ子 氏

- ・男女共同参画推進室は「幼児部会」・「学校部会」・「地域部会」の3つの部会から成り立ち、専門家を用いて活動している。それぞれの部会との「情報交換の場」という点が中心的な活動である。“地域子ども育成100人の会”という有志の会からの提言と男女共同参画の重点目標とが合わさったことがきっかけで活性化した。
- ・科学的理解にとどまらない、性教育の手引きを作成。
- ・伝えることが大事であり、人のいるところに出向いて活動していくことを大切にしている。

2 警察の視点から

長野県警本部生活安全部少年課

警部 伊藤 眞一郎 氏

- ・少年サポート、少年の悩み（家庭・性などの問題）に取り組んでいる課がある。そこでは、性を知らないような子どもたちが、被害に遭っているケースが多く見られている。フリーコミュニケーション、ネットで知り合うケースが増加している。家庭的な問題が根強いのではないかな。

3 助産師の視点から

日本助産師会長野県支部

前副会長 木村 節子 氏

- ・命に関する専門職という立場で、性教育の講演を依頼されることが多く、17年度より、より専門的なものを求められるようになった。中学校での講演が特に増加している。
- ・小中では性教育＝二次性徴という捉え。
- ・「着床」や「受精」を大切に話をしている。細胞分裂が始まる時には男女性ができている。49%が流産する中で、命が巡り会ったということをきちんと伝えていく。
- ・母親が子どもと向かい合って話ができる知識が必要であると感じる。本当のことを話すこと、ウソの上にウソを積み重ねないことが大事である。母親指導＝子どもと向き合う大切な部分である。

- ・排卵のメカニズムを知らない子どもが多いが、どこが教えているのか？

4 相談所の視点から

北信母性保護相談所 保健師 大久保 桂子 氏

- ・医療と連携をしながら行っており、学生の個別相談は学校の先生からの紹介により来所してくる。また、性教育への協力についての依頼もある。診察と相談が合わせてできるメリットがある。
- ・相談内容については、「月経異常」「望まない妊娠」「STI」「レイプ」「気になる性行動」が多い。性の問題の予防医学的指導を第一に行っている。
- ・講演については、「望まない妊娠」「人工妊娠中絶」「STI」の内容が多い。
- ・正しい知識が不足していると感じる。だから行動に移せない、身を守る方法を知らない。
- ・男子に視点を置いた性教育の必要性。

5 医師の視点から

長野赤十字病院 泌尿器科部長 天野 俊康 氏

- ・男子思春期教育の講演を行っている。正しい知識は男性にも同様に必要。学校での保健指導や講演をもっと普及したい。まだまだ泌尿器科が講演に行くケースは見られなく、全国の組織づくりを考えている。
- ・講演内容のガイドラインの作成。講演では学校との事前打ち合わせを密に行う。
- ・STI予防については、性交に近い行為をしないことやコンドームの着用を伝えている。
- ・保健所の検査はありがたい。

6 学校の視点から

松代高等学校 養護教諭 山寺 智子 氏

- ・セルフエスティームの低い子は、マイナス要素を取り込みやすい。保護者、講師、学校の連携が必要。
- ・講演者から提示される資料は、教師の勉強・知識になるのでありがたい。
- ・高校の性教育は「学習指導要領」で行われる学習指導と、「流動、融通性のある」保健行事の2本で行われる。
- ・高いニーズを持っている生徒が見受けられ、相談所や医師、警察など現れては消え・・・といった現状。
- ・保護者の問題意識をもっと高めたい。保護者を含め

た教育が必要なのでは？

7 保護者の視点から

下水鉾小学校PTA

前母親委員長 神林 純子 氏

- ・出産の経験の良さが、子どもに伝えるものになるのでは、と感じ始めている。
- ・母親委員と校内研修といった横のつながりが大切である。
- ・子どもたちの現状を受け止め、親、大人ができることを考えていく。親同士が違う意見を認め合うことが子どもの個性を受け入れることになる。
- ・トークタイムを設け、受動的でない環境を作ることが心をかけている。

助言者のまとめ

- ・集中できない子どもが多く見受けられる。
- ・もっと自信を持って取り組んで欲しい。
- ・大人が性教育を学ぶ機会がないと思う。子どもと保護者が一緒になって行う工夫も大切。
- ・家庭に居場所がないと荒れてくる。自分を大切にすることは、自分の性を大事にすることにつながる。

感想

現在、多くの問題を抱える生徒が存在し、様々な機関と連携することで状況が改善しているケースも出ています。

ただ、手探り状態で、先生方の持つ知識や経験を出し合いながらカンファレンスを続け、やっとのことで解決に向かうケースが多いので、もっと早期解決や改善に生徒を導けるような「横のつながり」を意識した生かせるような組織づくりを望みます。若年層の全体的な課題になっていると思います。

保健の授業を行っていて、男性・女性に対する正しい知識、しっかりとした知識が不足しており、私も上手に授業展開できてない感が残ります。

以上、つたない報告をお許してください。なにか伝わればと思います。

東京都性教育研究会 研究発表大会

平成18年11月30日
於新宿コズミックセンター

豊かな対人関係の育成を目指した性教育
～挨拶や返事などの本来の意味や価値を考え直す～

東京都立三田高等学校
教諭 井谷 享

1. 研究の動機

生徒と接していると、挨拶や返事などの意味や価値について考えさせられることが多い。

大きな声で挨拶や返事をする生徒もいれば、全く返事が返ってこない生徒もいる。挨拶や返事ができないのか。それとも、何かの理由で挨拶や返事をしないのか。自分自身である意味での「マニュアル」を作っているのだろうか。

大人の社会でも同じような現象を感じる事が多い。隣近所での挨拶や混雑している電車から降りる際の一声が少なくなっていることが、その典型的な例である。

豊かな対人関係は、挨拶や返事などの基本的な生活習慣から始まることは言うまでもないが、その本来の意味や価値が見失われているように思える。

今回は、平成19年11月に東京都で開催される「関東甲信越性教育研究大会」での分科会発表の基礎研究としての発表である。参加者の皆様からご指導をいただき、さらに研究を深めていきたい。

2. 事例ーよく見かける光景ー

(1) 部活動の顧問や先輩への挨拶や返事

部の顧問や先輩には礼儀正しく挨拶や返事ができるが、他の教員には挨拶や返事をしなかったりおざなりになったりする。

(2) 教科担当への挨拶や返事

教科担当と生徒との関係である場合は礼

儀正しく挨拶や返事ができるが、年度が変わり教科担当ではなくなると挨拶や返事をしなかったりおざなりになったりする。

(3) アルバイト先での挨拶や返事

アルバイトでは礼儀正しく挨拶や返事ができるが、学校（アルバイト以外の場面）では挨拶や返事をしなかったりおざなりになったりする。

(4) ボールを拾ってあげた時のお礼

球技の授業中にボールを拾って渡しても、礼の言動がない。

(5) 電車から降りる際の一声をかける大人が少

ない
車両の奥の方から人とぶつかりながら無言で降りていく大人をよく見かける。

3. 無意識のマニュアル

なぜ上記の言動を取る人が多いのか。

意識して、または無意識のうちに対人関係に関するマニュアルをつくっているのではないのか。

挨拶や返事をしないと叱られたり自分の立場が不利になったり、自分の得になる場合や人には挨拶や返事をするというように、心のどこかにマニュアルをつくっているのではないのか。

また、自分のことしか考えられず周囲に目が届かず、挨拶や返事ができない。多忙な現代社会においては、心にゆとりが持たなくなっている。その象徴的な現象であると思う。

挨拶や返事は自分の存在を示したり相手の存在を認めたりするために行うものであると思う。また、他人の言動に対しての自分の意思表示でもあると思う。豊かな対人関係は、挨拶や返事などの基本的な生活習慣から始まることは言うまでもないが、その本来の意味や価値が見失われているように思える。

4. 「七・五・三現象」から見られる、対人関係の大切さ

ある調査によると、中卒、高卒、大卒で就職した者が三年以内に離職する割合は、それぞれ七割、五割、三割と言われている。

離職する者の中には、より条件の良い職や企業に移る場合もあるが、大部分の者は、辞めざるを得ない状況に追い込まれている離職である。

主な原因は、対人関係である。つまり、挨拶や返事などの基本的な生活習慣が身につけていないがために、職業や職場に順応できなく、離職する者が増えている。難関の大学を卒業しても高度な資格を取得しても、挨拶や返事などの基本的な生活習慣が身につけていないがために離職せざるを得ないとは、とても寂しい事である。

5. まとめ

豊かな対人関係は、挨拶や返事などの基本的な生活習慣から始まることは言うまでもないが、その本来の意味や価値が見失われているように思える。挨拶や返事は自分の存在を示したり相手の存在を認めたりするために行うものであると思う。また、他人の言動に対しての自分の意思表示でもあると思う。このような基本的な生活習慣が身につけていなかったり、歪められて身につけているために豊かな対人関係が育たず、今日問題となっている性に関する事故や事件につながっていると思う。ライフスキルやコミュニケーション能力など高次の能力を育成することも大切であるが、「おはよう」、「はい」、「ごめんなさい」、「ありがとう」などが、心から言えるようにすることが、性教育のスタートであると思う。

現在取り組んでいる連載【エイズ特集】 20余年の蓄積より

都立墨田川高校嘱託 田 原 正 之

この連載に取り組んで2年が過ぎました。あふるる8号では[前期分0～5号]を載せました。あふるる9号では[中期分6～10号]を載せる予定でしたが時間の配分がうまく行かず、6～9号・1995年(平成7年)12月末までとし、年度別・月毎にまとめました。

【1993年(平成5年)】

★ 7月

拠点病院でエイズ治療—都道府県に複数設置、来年度以降厚生省方針

ネコのエイズ—接種で発症のウイルス発見

日本のネコの6.1%が感染しており、米国の1.2%に比べ極端に高い結果が出た。石田卓夫助教らは、ネコにエイズを発病させるネコ・ウイルスを世界で初めて発見した。

“コンドームCM” “高感度 68%”—エイズ対策で市民権、都調査で

小学校高学年以上—53%、中学生以上—77%、高校生以上—91%で、都が昨年実施したエイズ対策キャンペーンのコンドーム使用を勧める数値を示した。CM感度も68%と高く、予防対策としてコンドームが“市民権”を得たことが伺われる。

エイズの米少年が日本の子どもと交流—偏見解消をアピール

「僕はジョナサン・・・エイズなの」のジョナサン・スウェン(10)が先月来日した。

母親、兄たちと東京ドームで巨人—横浜戦観戦。

HIVを直接検出—献血時エイズ検査・厚生省新しい方法開発

しかし、採取した血清資料を低コストで大量処置できる現行の検査方法に比べて費用対効果(コスト・ベネフィット)が低く、血液事業の圧迫につながりかねないとの指摘もある。

尿使い、診断ズバリ—感染結果の簡便化に光り—宮崎医科大で開発

尿を用いてHIVを100%検出できる新しい測定方法が開発されたと「エイズ学術会議」で発表される。

アジア研究者指導へ—エイズ分野で国際協力

国立予防衛生研究所は来月1月から、アジア地区の研究者を日本に招き技術指導に乗り出す。

国際エイズ会議、ネックは入国問題—麻薬中毒者・売春体験者参加に法の壁

来年夏横浜で開かれる「第10回国際エイズ会議」の課題だ。日本の国際管理法では「売春業務に従事したもの」「麻薬などの取り締まりで刑に処せられたことのあるもの」は上陸できないことになっている。

エイズ感染、更に73人—国内感染が増加

5、6月の2か月間で、日本人が全体の半数以上を占めている。

人工血液など開発を促進—「日本血液代替物学会」

血液代替物というのは、酸素、栄養、老廃物の運搬など血液の肩代わりする物質。

★ 8月

エイズの“戸籍”づくり、予防へ—国立予防衛生研究所エイズ疫学室

HIVにはどんなタイプがあり、それぞれがどういう経路で流行していったのか？HIVの遺伝子を詳細に調べ、エイズ予防上重要なエイズウイルスの“戸籍”作りに取り組む。

プライバシー保護が課題—生保のエイズ告知義務化、人権と差別巡り、業界の合意まだ

生命保険業界がHIV感染者の加入阻止を視野に、告知書の改定問題などへの本格的な取り組みを開始した。しかし、プライバシーの保護、差別問題など課題は山積みだ。

今世紀中800万人死亡か—WHOが予測—教育実施から感染者半減

死亡者は現在200万人に達し、2000年までに600万人が死亡するとの見解を明らかにした。

性教育の促進や、コンドームの供給が基本的であるとし、感染者は半減するとの見方を示した。

エイズに認識不足—日本で働く外国人女性

外国人女性で、日本でコンドームを使用する率は32%、タイ国内では99%、全く使わないと答えた女性はゼロ、日本内では8%いた。客がコンドーム着用を拒否した場合、性交を断る女性はタイでは82.7%に対し、日本内では37.4%であった。

妊婦の検査増える—院内感染防止がきっかけ
肝炎や梅毒などの血液検査と一緒に、妊婦にエイズ検査をする産婦人科医が増えてきた。

☆ 9月

若者の気持ち、広く深く考慮—「エイズ」テーマ初の連続ドラマ「命ささえて」TBS

エイズ患者と患者を取り巻く家族を描いた連続ドラマ。10月4日スタート。

「大部分は回避できた」—血友病患者の HIV 感染

「国産血液製剤へ転換怠る」、長野大グループ実例上げ批判

「安全な国内製剤に転換すれば、大部分の感染は回避できた」とする論文を長野大産業社会学部教授らがまとめた。

中学生にもパンフ—エイズ予防で文部省「エイズを正しく理解しよう」

コンドームの使用が予防に有効であることも明記されている。

女性の感染者が急増

WHO のマーンソン博士は、明らかにしたものの。2000 年までに 1300 万人以上が感染し約 400 万人が死亡するだろうと予測している。

外国人労働者のエイズ対策—相談・診断の場乏しく、調査も手づかず状態

外国人労働者の対策が過敏になれば「外国人排除の方向へ進み、人権上好ましくない」また、医療保障のない者の検査・診療費用を税金でまかなうかどうか財政負担の問題も残されている。

遺伝子治療、エイズに効果—米、マウス実験で 100%感染防止

米国立衛生研究所 (NIH) が突き止めたもので、来年 4 月から患者対象に実施する方針。

エイズ感染問題が深刻に—コロンビアのストリート・チルドレン

麻薬常習・・・知識不足、患者拡大にも打つ手なし

生きるために盗みや売春をする子どもたち。エイズの高危険者集団で社会に感染を広げる原因になりえるという。

患者・感染者 47 人に—7.8 月、昨年同期の半分に

患者は 9 人感染者 38 人。男 29 人、女 18 人。累計 1,301 人。(男 693、女 608) 血液剤除

☆ 10月

患者・感染者 94 人に—8 月末、6 割が外国人—千葉

患者 10 人、感染者 84 人。東京・茨城について長野を抜いて 3 位が続いている。うち 6 割の 56 人が外国人。

医師の指示で使った血液製剤なのに—血友病の大学院生が切々と「苦悩」東京エイズ訴訟

「感染が心配だったが、情報も与えられず医師の指示通り製剤を使い続けた。何でこんな目にあわなければならないのか、といつも葛藤している」。

ウイルスに免疫—ロンドン、英紙「ガーディアン」

ケニアとカナダの合同チームが、生まれつき HIV に免疫を持ち感染しない女性がいることを突き止めたと報じた。

「エイズ差別、なくせ」—看護婦グループが結成

差別から患者を守るためのグループ。「日本 HIV 看護ネットワーク」

☆ 11月

愛死—4 日から登場の朝刊連載小説—瀬戸内寂聴さん

現代の“宿病”エイズと共に生きる知恵探る

「あなたはエイズに感染」—「検査料」と 250 万円詐欺—神戸

保健所職員などと名乗る男性から、5 人の女性が計 250 万円の被害にあっている。

エイズの現場"事故"は 118 件—この 10 年、幸い感染例はゼロ

医療現場で、従事者が過って自分の針を刺したり血液を浴びたりした事故。

エイズウイルス「HIV-2 型」日本人から初めて検出—輸入血液製剤から重複感染

感染ルートは、輸入血液製剤でその時期は加熱処理が始まる昭和 60 年以前らしい。

患者、新たに 20 人—9.10 月、感染者は 35 人日本人 6 割

累計 1,356 人 (男 728、女 628) 血液剤除

「エイズ基金」を設立

医薬品産業労組協議会が設立。約 12 万人の組合員から年間一人百円の特別カンパで徴収し、組合本部からのカンパも併せて計 2 千万円の基金を設け毎年 1 千万円を充てていく。

エイズ患者の心を紡ぐ、メモリアル・キルト

見る人にもメッセージ

エイズデー前に都庁で展示会、激励の気持ち「仲間」が託す

三千人キルト—15M×18M、3千枚を張り合わせたもの。三千人のメッセージが託されている。

「愛と平和」「君は宝物」など

異性間、国内化、潜在化—これがキーワード、

HIV感染者報告数の8.7倍

9.10月に確認された患者数は過去最高の20人。

エイズは今<異性間、国内化、潜在化>

★ 12月

エイズの進行シャットアウト—たんぱく質の

働きを抑えて—京大ウイルス研究所長が発表

HIVを増殖したり、感染細胞を殺したりする際に欠かせないたんぱく質の働きを抑えることで、発症、進行を防止しようという遺伝子治療の基礎実験に成功。

パソコン通信で、活発討論—患者・感染者も参加、

会員2600人

匿名で、プライバシー保護。エイズにテーマを絞った日本発のパソコン通信がスタートして、半年あまりが過ぎた。

エイズ発症引き金は、ウイルスの突然変異—治療、

抑制の手がかりに

東大医科学研究所が突き止めたもので、突然変異を起こした“悪玉HIV”が増えるのを抑えて発症を遅らせたり、診断のマーカー(目印)に使える可能性もあるという。

感染心配—医学生8割が恐怖心

医歯系学部生は、医療行為によって自分がエイズに感染するのではとの恐怖感は、「非常にある」30%、「多少持っている」54%とかなり高い調査結果が出ている。

エイズ—特別視せず、地道に治療

「気をつけなければならないのは血液だけ。エイズ患者は他の患者と区別しない」。患者が咳き込み、つばが飛んでも気にしない。東大医科学研究所付属病院・感染免疫内科の先生はごく普通の診療を強調する。

感染の心境切々と—エイズ原告初証言、東京訴訟本人尋問

44歳の男性の妻は、昨年になって感染が判明「夫婦に万一のことがあったら子どもはどうすればいいのか」と訴えた。また、専門学生は結婚問題について「僕は先が短いので、後に残さ

れた人のことを考えると結婚しないほうがいいのではないかと思う」などと証言した。

日常生活で感染2例—米、カミソリ・歯ブラシ共用

一例は十代の兄弟間。いずれも血友病だが性的接触や輸血、注射器による感染の可能性は無く、共用しているカミソリでの感染のほかに考えられないという。

もう一つの例は、HIV陽性の5歳の幼児から同じ里子のもとで暮らす2歳の幼児に感染、歯ブラシ共用が経路ではないかと見られる。

エイズ無断検査絶えず—医療機関 感染防止切実だが

本人の承諾なく無断検査が後を絶たず大きな問題になりつつあるという。しかし、外科医にとっては「感染や発病した救急患者の緊急手術が増え、同意を取る時間もない。無断でも検査は必要」と強く訴える医師が多い。

どう変わる冬季五輪—エイズ対策も発信する

場に「タバコの害」もアピール

リレハンメル五輪のことである。室内競技場の中は全面禁煙。屋外距離のゴール付近は一部禁煙。

エイズ防止活動では、選手・役員・報道関係者ら二万人にコンドームを無料配布する、など。

手術?で感染—豪州、同じ医師の患者4人

シドニー市内で、同じ日に同一の医師による手術を受けた女性4人がHIVに感染した。この医師は、女性の手術の前にそうとは知らずHIVに感染した男性を手術していた。同医師自身は感染しておらず、手術そのものを經由して感染したものみている。

【1994年(平成6年)】

★ 1月

エイズ撲滅に協力、共同でネクタイ製作—米のアカデミー

アメリカのファッションデザイナーの人たち。売り上げの一部を患者の治療やエイズ教育に取り組んでいる団体に寄附する。

B型肝炎や性病激減—エイズ防止PRの効果

B型肝炎や性行為で感染する病気の患者数が激減、ここ数年間で最低レベルである。専門家は、国を挙げてのキャンペーンの成果と見ている。

マニュアル初出版—患者、家族向け

「エイズ・トータルケア」と題し、その家族が日常生活を有意義に楽しく暮らせるようにとしたもの。執筆したのは、東大医科学研究所感染免疫内科の岡 慎一講師と看護婦ら。

タイ山岳民族の悲劇—中毒プラスエイズ禍、麻薬の供給源

タイ北部国境地帯「ゴールデン・トライアングル」（黄金の三角地帯）の山岳民族に起っている。

新成人よ、エイズを知って—自治体がPR作戦、避妊具配布や抗体検査

成人の日の15日、首都圏の自治体や民間団体がPR活動を開始する。国内の患者・感染者はこの5年間の累計で約1200人。このうち20代以下は6割近くを占めている。

東京・千葉・栃木では小冊子。神奈川ではポスターを、三鷹市では希望者に抗体検査、世田谷区ではアンケートに答えてくれた人には、コンドームを配布する。横浜市ではエイズ問題を取り上げて理解を呼びかける。

飼育中の職員に感染—サルのエイズウイルス—ボストン

これまで人間には感染しないといわれていたサルのエイズウイルス（SIV）が、飼育者の血液から始めて分離した。免疫不全などの症状は出ていない。

エイズを語るシリーズ

ウイルス学者 北村 敬

① **T4リンパ球を襲う“強敵”**—免疫機能

奪い、無抵抗な身体に

HIVはT4リンパ球に集中的に感染し、数を着実に減少させ免疫力を弱らせ死にも至らせます。また、体内で次々と変化するのでワクチンの開発も見通しが立たない現状。

② **血液・精液・膣分泌液・母乳**—ウイルス濃く感染注意

ウイルスは熱に弱く、体温の環境下では長く生きられない。宿主のT4リンパ球にすぐ出会わなければその前に死んでしまいます。T4リンパ球が多いのは血液・精液・膣分泌液です。母乳も唾液よりずっと多く含み感染することが分かっています。

③ **治療薬は開発途上**—感染しやすい行動は避ける

ワクチンも薬もない現状では当面、感染の危険性の高い性行動は控えるしか解決の方法

はありません。性教育と私たちの行動の変化により、人類の重大な危機を避けることは可能だと信じています。

臨床医 根岸 昌功

④ **支えてくれる味方が必要**—本人から事実を伝える、社会的に孤立の恐怖、ボランティアも大切

駒込病院は、85年10月日本発のエイズ専門外来が設けられた。私たちは二次感染を防ぐためにも感染者全員に告知します。この病気は、一人で闘うにはあまりにも辛い病気です。理解して支えてくれる味方が家庭や職場など身近にいることが重要です。ボランティア活動など、社会的なサポートも大切です。

⑤ **早期の治療が第一**—免疫力低下防ぎ発病遅らす

何もしなければ感染後10年で約半数は発病し、残りもほぼ全員発病すると考えられています。現状では残念ながら臨床医に出来ることは、発病を遅らせ、発病後は生存期間を延ばす“時間稼ぎ”の治療だけです。少なくとも早く治療を受けることは間違いないことです。

⑥ **感染者の偏見なくせ**—「検査受ける恐怖」ない社会を

今の日本社会はかつてハンセン病患者を排斥したように、エイズにも同じ過ちを繰り返そうとしている。感染者に対する偏見や差別は検査を受ける恐怖を強めます。エイズはガンと同様に致命的な病気の一つに過ぎません。そこには重い病気に苦しんで助けを求める人間がいるのです。その人たちに手を差し伸べ、共に生きる道を検索することが私たち人間と社会の責務だと思います。

社会学者 宗像 恒次

⑦ **水面下で広がる感染者**—夫婦間でも話し合いを、国民の1割の国も、タイ売春で4万人も？

世界全体で成人約250人に一人、ウガンダでは国民の1割約200万人、そのある村では15～49歳の9割が感染しているという報告もある。売春、複数によるフリーセックス、コンドームを使用しない行為があるという。

妻や恋人への二次感染が懸念されます。今必要なのは、夫婦間や恋人同士でエイズについてもっと話し合うということです。

⑧ **「知識」実行できる力を**—予防教育は小学校から

予防教育は恥ずかしがらずに（セックス、売春、コンドームといった言葉）科学的に理解しやすい小学校から始めるのが最適です。正

確な知識を身に付けさせると同時に、その知識を実行できる力を子どもに育む、これが日本のエイズ予防教育に求められています。

⑦ 感染者は同情より共感を—人類の連帯で必ず勝てる、頭と心に落差、人のあり方学べる

研修で初めてカポジ肉腫の患者に触れた後、石鹸で何度も念入りに手を洗っていた。頭の中では理解していても心の理解は違っていた。あの時私の行動はその落差を意味していた。恐れを感じ、差別をしていたのでは…。これは教育現場でも同じことが言えよう。

エイズは恐怖や差別問題を生む一方で、人類の連帯を形作るエネルギーも持っています。世界の心が一つになることで、人類は必ず勝利すると願っている。

エイズ感染 3000 人突破—日本人最高の 183 人—昨年 1 年間で

患者・感染者の累計は、1410 人（男 762、女 648）。血液製剤を含めると 3599 人と初めて 3000 人を突破した。

エイズ闘病の記録を刺繍に—メモリアル・キルト、ボランティアが来月市川で展示会
市川市鬼越のニッケコルトンプラザで開かれる。地元教職員らは「ぜひ多くの子どもたちにもエイズ患者のおかれた状況を理解して欲しい」と来場を呼びかけている。

21 世紀の医療技術予測—難治性ガンの診断やエイズ治療薬開発

「画像診断技術の進歩によりスキルス胃がんや肝がんなどの難治性がんの容易な診断」は 96-05 年、エイズについては「ワクチンも含む根本的治療薬が開発される」01-10 年の間に達成されると予測している結果が、財団法人ヒューマンサイエンス振興財団の調査で出された。

☆ 2 月

感染の男性が証言—東京エイズ訴訟、口頭弁論

「厚生省や医師が感染の危険を知らせず、被害が拡大した」と訴えた。昭和 58 年夏頃、血友病患者に対する講演で血友病専門医らは「悪くても 3000 人に 1 人が発症するかもしれないかだ。今までどおり血液製剤で治療を続けて」などと発言したという。

高校三年生に配布—桑田さんらパンフ作成—エイズ防止

コンサートの収益金を基にエイズ啓蒙のパンフレットを作成、今春卒業する都内の高校三年生約 14 万人に無料プレゼントする。桑田佳祐、泉谷しげるさんら 19 組。収益金の 1500 万円を充てた。

☆ 3 月

エイズ患者の暴行に「殺人未遂」—米・判決で適用、差別と批判も

エイズ患者の男が少年を誘拐し、暴行した事件でのこと。この男に誘拐、暴行罪に加え第一級殺人未遂による有罪判決を下した。エイズを殺人の「凶器」とみなす判断で、人権団体から「エイズ患者を不当に差別して罰するもの」との批判があがった。

シリーズ エイズとの闘い アメリカからの報告

① 感染孤児の笑顔願う—ヘルス・ハウス—ホスピス建設の夢

ハーレムの黒人街に「ヘルス・ハウス」がある。そこはもともと麻薬患者の子どもを預かる施設だが、今ではエイズの子どもの家でもある。ヘルス・ハウスでは、エイズの子もそうでない子も一緒に食事し、遊ぶ。症状が出れば入院し孤独な死を迎える。創始者の娘さんは、楽しく遊び、愛情に包まれながら最後の日々を過ごさせてあげる「子どものエイズホスピス」を作るのを夢としている。

② 偏見逃れ異郷の闘病—遠い日本

サンフランシスコに住む男性は、2 年間男性と同棲、HIV に感染。発病していないが「もう日本に帰れない」たまらなく寂しくなるといふ。「米国の日本人患者の多くは家族に病気を知らせぬまま孤独な死を迎え、死後も連絡しないで」と言い残す。死の床で沸き起こるであろう望郷の思いは、故国を告発して止まないという。

③ 麻薬代求め、危険冒す—娼婦たち

売春で稼ぎが多いときは 1 日 250 ドル。でも 150 ドルはその日のクラック消えてしまうという。

「エイズ感染は分かっているけど、この商売はやめるのは無理だ」と言う。麻薬が切れると禁断症状が怖い、他に稼げる仕事はない。

④ 思い出を支えに活動—患者と女医の結婚

エイズ患者の男性とガン専門医の女性は、三年近くの交際を経て結婚、だが幸せは長く続かなかった。男性は 47 歳の生涯を終えた。1 年半足らずの結婚生活は、病气や差別との闘いに明け暮れた。女医は 39 歳の今、診療のかたわら私財を投じたエイズ財団の活動に忙しい。

⑤ 差別の恐怖との葛藤—2500 日の沈黙

51 歳の女性はドミニカ共和国生まれ、13 歳で米国に移民。「私はエイズに感染しています」7 年間秘密にしていたが、2500 日の沈

黙は良心と差別への恐怖との葛藤の日々であったという。

⑥「私は陽性」21歳の訴え—セーフセックス

ブロンドの髪と瞳が魅力の21歳の女性。「陽性と分かったときは本当にショックでした。こんな若さで死んでしまうなんて、何も信じなくなかった・・・」。「セックスの時、コンドームを使えば安全と聞いてはいた。でもパートナーとセックスについてどう話せばいいか知らなかった。私は陽性、セーフセックスを真剣に考えて下さい」。

HIV感染者1万8千人—2002年予測

厚生省 HIV 疫学研究班が予測をたてた。患者は3千5百人。

BCG利用のエイズワクチン—「細胞性免疫」

高める サルで感染予防実験

国立予防衛生研究所と、味の素が開発。

日本エイズ患者ら38人—1・2月

患者・感染者66人のうち38人が日本人であった(血液製剤を除く)。ゼロ県は佐賀・鳥取の2県。

★ 4月

「殺人未遂」で専門医告発—血液製剤から感染、患者217人

訴えられたのは、血友病専門医の帝京大名誉教授(77)。「エイズ感染の恐れを知らながら危険な血液製剤を投与した」と患者や遺族が訴えたもの。

医療現場のエイズ偏見—HIVと人権・情報センター代表 屋鋪 恭一

具体的な医療現場の問題点を列举すると。

*内科では診てくれるが、他の診療科では診てくれない。

*発病すると、他の病院に強制的に転院させられる。

*救急でいつもの病院へ行ったが、診てもらえず命に関わるどころだった。

*英語を話せない外国人に対しする機関が極端に少ない。など

不況風「エイズ会議」圧迫—寄付金集まらず縮小も・8月横浜開催

「第十回国際エイズ会議」への寄付金が予定の四分の一にも達せず運営費の確保に黄信号がともっている。

シリーズ エイズ血液製剤感染

① 悔恨・・・知らずに妻まで—遅すぎた告白

夫は血友病患者、血液製剤を使って感染。妻は突然高熱を出して倒れた。エイズにかかっ

ていた。夫への告知が遅れたため妻に感染。「自分がエイズと分かっていたら、妻への感染を防げたかも知れない」と悔やむ。

② 国立病院でも拒否—閉ざされた治療

国立国際医療センターに救急車が滑り込んだ、患者は22歳の男性。「HIV陽性者」と知って当直医は診療を拒否した。センターの院長は「感染者を拒否しないよう指導しているんですが・・・」「医者である限り治療をやらざるをえないだろう」。院長の言葉に当直医は無言だったという。

③ 細る手に治療費重く・・・—不安の日々

製縫職員だった夫は、主治医の告知の遅れから妻も二次感染していた。3DKのマンションのローン、子どもの教育費、治療費そして夫婦が亡くなった後の子ども達の生活費・・・どうする。

入院費は1日4万円、しかし、健康保険を使わず自費で診療を受ける患者もいるという。

④ 生きるための模索続く—明日への希望

「告知のショックを乗り越えたとき、誰もが考えるのは残された人生を如何に有意義に過ごすか。結婚、子育て、そしていい仕事・・・がしたいんです」。誰だって生きるために明日への希望が必要だ。

⑤ 遺族に引き継ぐ「無念」—残された時間

「薬害エイズ裁判」東京67人、大阪63人、すでに3分1は亡くなっている。遺族が引き継ぐケースが多くなっている。

エイズ理解の浅さ痛感—アカデミー主演男優、トム・ハンクスに聞く

役作りのために病院を訪れ、医師や患者から話を聞いた。「理解はあったが、心の底から理解できていなかったことを痛感した」という。「エイズは米国にとって避けられない課題、それが社会となって十数年経過したことで機は熟した」。

守秘義務よりも感染防止—医師の倫理に、仏で柔軟指針

患者・感染者のパートナーから教えて欲しいとの依頼があった場合には柔軟に対応しても良いとの見解に達している。

集中尋問始まる—血友病の十代の少年ら証言「いじめが猛烈」・東京エイズ訴訟

幼児期から血友病の治療を受けていた十代の少年は、「猛烈ないじめを受けた」と証言、加熱に変えて欲しいと医師に頼んだら「非加熱を使い切ったら切り替える」と言った。二十代の男性は、就職試験で血友病を打ち明けたらことごとく不採用になった、と言う。血友病すら言えないと訴えた。

「平静装い、仕事づらい」—感染者、生活ぶり証言

エイズ感染を悟られないように血友病のことを会社に隠しているため「体調の悪いときでも、平静を装って仕事をしなければならず、づらい」と心境を述べた。

麻薬常用からエイズへ

ミャンマーの宝石採掘現場の労働者は、麻薬の注射針で HIV に感染している。

エイズ、死の無念 キルトでしのぶ

「エイズメモリアルキルト展」が 24 日横浜・ラウンドマークタワーで始まる。

母子感染 7 割減らす—治療薬 AZT

CDC が発表したもので、非投与組が 25.5% だったのに対し、投与組は 8.3% と約 3 分の 1 だった。

☆ 5 月

エイズ報告 10 年、悲劇深刻化

血液製剤によるエイズウイルス (HIV) 感染が報告されて十余年。多くの感染者が今、発病したり、発病の不安に駆られている。血液製剤被害者の償い急務。

“呉越同舟” 会議出席へ—HIV 発見争った 2 人

ロバート・ギャロ (米) とリュック・モンタニエ (仏) の両博士が横浜エイズ会議に出席する。

“コンドーム礼讃” は疑問

コンドーム着用を主張せず、根底にある個人個人の生の在り方を合わせて論議すべきである。

性は生である。エイズが我々に、自我の確立した生き方を求めているようだ。

エイズ感染 “年金賠償”—血液製剤の 30 人
スイス赤十字社は、月額約 1500 スイス・フラン (約 11 万円) の終身年金を支給する方針を明らかにした。

「エイズかかりにくい」—“仲間” HTLV-Ⅱ 型

米ニュージャージー州医科歯科大の博士が 10 年間に渡り、HIV と同じレトロウイルスの仲間である HTLV-Ⅱ 型に感染している麻薬患者 567 人を調べた結果である。

◎ 読売新聞 120 周年記念 国際医療フォーラムより

アメリカのエイズ治療・研究—急増エイズと苦悩の闘い、『命』救う患者とのきずな
期待大きい酵素阻害剤 「死に至る病ではな

い」

* 専門病棟—看護スタッフ充実

医師、看護婦、看護助手、エイズ専門栄養士、退院患者の住まいや職業の面倒まで見るソーシャルワーカー、患者や家族に予防の知識を与えるエイズ・エドゥケーターそして患者の悩みを聞き、その心を支えるボランティア。

* 治療開発薬—プロテアーゼ阻害剤

現在の抗ウイルス薬は、AZT、ddI、ddC の三種類だけ。注目されているのがプロテアーゼ阻害剤である。しかし、治療の初期の段階に限り効果があるが使っているうちに薬剤耐性を持つという欠点があるという。

* ロス博士にインタビュー—「死に至る病気ではない」

「人間同士のきずなや、愛情が患者の生きる可能性を大きくする」と強調する。

エイズ対策の現状と展望—正確な知識で予防
読売日本テレビ文化センターの「東京テクノ・フォーラム」で谷 修一厚生省保健医療局長が報告

* 流行状況—81 年サンフランシスコで初めて新しい病気として認識される。

83 年 HIV 発見され原因が分かるが、有効な薬がない。

日本の累計患者数は 2 月現在 700 人。感染者は 2965 人 (血液製剤除)、急増中。異性間が増加。世界では患者数 300 万人以上、感染者数成人では 1400 万人以上。サハラ以南のアフリカ、アジア地域増加。

* 政府の対策—平成 6 年度予算に 109 億円を計上し、2000 年までに「エイズストップ 七年作戦」を展開する。

* 今後の課題—エイズは日常の生活ではうつらないということを正しく理解して、患者・感染者への差別をなくして社会で如何に受け入れていくかが大きな課題だ。

研修中です、ホテルマン—“宿泊拒否症候群” を吹き飛ばせ

「第十回国際エイズ会議」を前に従業員に「エイズ研修」急ピッチ。

エイズプログラム決定

最近の研究成果、エイズ対策をはじめ、アジアのエイズ流行と予防対策。女性とエイズに関する問題など。

感染防ぐ自己輸血—実施率低い小規模病院

病床 300 以上の病院では 48.5%、未満では 7.1%と大きな開きがあった。

患者・感染者新たに 70 人—国内のエイズ調査

3・4 月のことで、日本人過去最多の 42 人（男 37、女 5）、30 人は異性間。国内では 27 人。

「恋人へエイズ菌注射」に禁固 10 年—死亡なら殺人罪適用も—オランダ

別れ話から相手の女性に、エイズ患者から採った血液を注射し感染させた男性に対しての言い渡しである。

「平田 豊さん」39 歳の死—エイズ公表、差別解消訴え続け

29 日、肺炎のため千葉市内の病院で亡くなった。昨年暮れ病気が進行し、失明、今年 3 月入院「失明して暗闇の中にいると怖くなってくる。病気を忘れて生きてみたい」と語った。

天国でもエイズと闘う平田さん「最後の歌で」—死の 4 日前、支援者に口づて

道しるべ 黄泉（よみ）の国に であろうとも 目無の我は 何を語ろう
落ちて行く 宇宙船のごとく
我も又死が加速度的に 近付いてくる
天国とは 松葉杖やら 点読者らで
病人ばかりで 医者がいる国

☆ 6 月

「なぜ 15 歳で死を考えなければ・・・」

—発症の高 1 原告が心情、東京エイズ訴訟
生存している患者原告の最年少者。小 3 の時に感染。父の目に涙、でも「僕は泣きませんでした」と言う。現在は周囲に伏せたまま通学している。生きて生きて生き抜きたい。「僕を絶対に勝たせて下さい」と裁判官に訴えた。

入国特別許可も—売春経験者、法務省「重要人物なら」 エイズ会議

会議でスピーチする「キーパーソン」（重要人物）であれば入国許可が与えられるとの見解を示した。

Q 日本エイズの現状は—WHY 何で？ どうして？ 本当なの？

3・4 月期で 70 人、全国に広がり。4 月現在、血液製剤の 1771 人を合わせて患者・

感染者は 3317 人となった。現在なしは佐賀県だけ。

シリーズ エイズ性的感染—前回の「血液製剤感染」に続いて、今回はジワジワ拡大している

「性的感染」の

現状をレポートする

① 悔恨、妻や息子まで巻き添え

夫は十年前ニューヨーク留学中にパーティーで知り合った女性と関係を持って感染。妻に感染、そして子どもまで感染。エイズの認識の甘さから妻、息子まで巻き込んだ悲劇を生んだ。

② 別れた彼女、好きだったから恨まない、でも・・・

五年間付き合った彼女から感染。突然自分の前から姿を消した。彼女も感染しているはず。「彼女が好きだったのは事実だし、悔いはない。今のボクには恨む時間もない。」恋人など特定なパートナーからの感染が増えている。「エイズがそこまで蔓延しているという認識が足りない」。エイズは決して遠い世界の話ではない。

③ 無知、若さの落とし穴「まさか自分が」

首都圏に住む男性、ディスコで知り合った二人の女性のどちらから感染。「エイズのことは聞いたことはあるが、まさか自分にまでとは夢にも思わなかった。」と語る。

④ 外国人女性、潜在化招く“貧しい心”

感染が分かると帰国させられるか、店を追い出されるケースが多い。だから日本人業者は検査を受けさせなくなった。外国人女性を性的対象としか見ない貧しい心。それがエイズの潜在化を招き、悲劇を大きくしている。

⑤ 最後の手記 「妻子のために長生きする・・・」

結婚前に遊びすぎて、ヨーロッパで感染したらしい。発病し目が不自由になり、ペンを取ることができなくなったために妻が必死で書き取っていた。「同じ病氣と闘う人たちを勇気付けるために書くんだ」。「私のコップのジュースは、もうほとんど無い。妻や子どもの愛情にこたえるため、一日でも長生きすることが私の宿命。くたばれエイズ、私は発病してから長生きしたというギネスレコードを打ち立てるぞ」。最後の手記である。その三週間後に夫は亡くなった。

エイズ予防ワクチン、臨床試験スタート—タイ

そのワクチンは「UVI-1」HIVそのものではなく、ウイルス表面のたんぱく質を人工的に合成したもの。HIV抗体を作らせ侵入してきた本物のウイルスを退治して感染を防ぐのが狙い。

「感染危険」と退園処分—東京HIV訴訟で父証言、市立保育園—6歳坊や発症前保育園のほか、小学校の普通学級も拒否されるなど、教育現場での差別があった実態を明らかにした。裁判中に12歳で死亡している。「エイズと闘って死んでいくわが子がどんなに苦しんだかをもみんなに伝え、息子の二の舞を防ぎたいという思いで訴訟に加わった」と語った。

米当局が4番目のエイズ治療薬認可—ワシントン

「スタブジン」と呼ばれるもので、他の治療薬が効かなくなった進行エイズ患者の治療に特別に認可された。ウイルスの複製を阻害し、病気の進行を遅らせる効果があるという。

☆ 7月

社会に溶け込むエイズ患者支援—米の施設を予防団体役員が訪問

エイズ予防団体役員が、カリフォルニアのある民間施設を訪問取材してきた。

・カウンセリング全て無料 ・感染者もボランティア活動 ・地域住民も自然に受け入れ

エイズに挑む最前線—課題豊富な国際会議、来月横浜で

○ 免疫機能高め発病遅延図る

エイズ抵抗力—ヘルパーT細胞を活性化する生理活性化物質（インターフェロン12）が抵抗力を高めるもので、HIVとの共存を図る可能性も焦点になる。

遺伝子治療—「リボザイム」による治療計画。これは、HIV遺伝子を切断してしまう方法でウイルス増殖を大幅に抑える効果があり年内に投与する治療に着手する。

○ 酵素の働き阻害

新型治療薬—「プロテアーゼ阻害剤」。
HIVが増殖するの

に必要な酵素（プロテアーゼ）の働きを抑える物質だ。

○ ガンの発生に直結した事例

HIVのなぞ—HIVがガンを引き起こしたことを発表する。HIVの遺伝子が患者のガン遺伝子を刺激した結果、がん化したらしい。

『エイズウイルス発見は、仏』—10年かけた米との論争、やっとケリ

米国の厚生省と国立衛生研究所は、エイズウイルスを最初に発見したのは、仏のパストール研究所であることを正式に決めた。発見論争に終止符が打たれた。

「新生児出血症」エイズ感染—血友病以外で初めて、9年前に女児治療

未熟児で生まれた新生児出血症の治療で、非加熱の血液製剤を投与された少女がHIVに感染していたことが明らかになった。10人以上いるのではないかと、エイズ研究班は調査に乗り出した。

外国人女性のエイズ陽性率増加の傾向—神奈川県立ガンセンターの調査で判明
調査人数と陽性者率は、90年33人3%、91年446人3.6%、92年487人4.5%、93年200人5%。感染率の増加傾向を示している。クラミジアなど性病の感染も目立っている。

エイズ対策に提言書

国際会議を前に、民間団体が提言した。「日本のエイズ感染者は潜在化し、人権が侵害されている。」とし、医療提供、心理学的ケア、生活面での支援、その上で、差別防止・人権擁護・エイズ教育など具体的に提言した。

明るいエイズ対策—「何でもオープン」のフィリピン流

感染者に市民が質問攻め 寸劇でコンサート PRの巡業も
アジアで急増しているエイズ、フィリピンでは何事もあつけカランとさらし語り合う「明るいエイズ対策」に乗り出している。

シリーズ エイズ社会的理解—「血液製剤感染」「性的感染」に引き続き、今回は偏見や差別の現状とその解決に向けた取り組みを報告する。

① 父と子、生きる力支える“通信箱”

血液製剤で感染した12歳の息子。父は箱を作った。「息子と手を握り合った、生きていこう」そんな気持ちをこめた「握手箱」は、親子が互いに励ましあう「通信箱」となった。「薬が飲めない、どうなってもいい」すてばちを書いた手記に父は、「最後の最後まであきらめてはいけない。ごく小さな光であっても追いつづけることが人間として生きる力に結びつく」と諭した。

息子は今、高校1年生。免疫機能を示す数値は、いつ発病してもおかしくないほど低い。以前のような気弱な感情は持たない。「握手箱」も三ヶ月目になった。

② 支え、自ら感染、患者と生きる

医師自身も感染者。7年前に知った。妻に話したところ、それでも妻は「ついていきます」と言ってくれた。私には患者がいる。その人たちのためにも何とかしなければと動かされた。

医師は時には患者を自宅に招き、「自らの死を選ぶのは勝手だけれど、残された人のことを考えたことがあるのか」同じ病と闘う医師とその妻の言葉には重みがあった。

③ 職場復帰、「生」を分けた会社の対応

ある大手メーカーの社員。結婚前の米国滞在中に性交渉で感染、妻や子に二次感染させてしまった。課長と部長に報告した。2人は会社の主治医に相談、そのおかげでそのまま働いている。

こんなケースは例外だ。

アフリカで感染した駐在員の治療に携わった医師は、怒りをあらわにした。その会社員は帰国すると、退職金も出さずに解雇を命じられた。医師は「そんなことが許されるのか」と義憤を感じながら治療を続けたが、2年前息子の高校入学を見届けると会社員は静かに息を引き取った。

④ 経営者、心配りが肝心の社会対策

ある金属メーカー社長に、HIVに感染した男性が訪れた。この会社が、社員全員に抗体検査を受けさせたことについての訪問だった。「私は会社の無断検査で感染がわかって解雇されました、検査をしないで下さい」と訴えた。社長は、「早期発見で一日も早く治療を受けさせることが大切だと思うから」と説明する。昼食を取りながら二人は熱っぽく話し合った。話し終わって別れ際に、その男性の訪問に感謝し「ありがとう、もし社員から感染者が現れ

ても慌てずに対応できる自信が出来ました」と握手を求めた。

欧米でも日本でも、エイズは若年層、とりわけ働き盛りを襲う。企業としても手をこまねいて入られない。

⑤ 明日へ、感染者の思い伝えたい

感染者の苦しみや共存を訴えた一人芝居「冬の銀河」を演じる九州の山村で農業を営む茅野明さんは、血友病治療で感染した草伏村生さんの生き方を「冬の銀河」にまとめ、その彼の生き方を一人芝居で訴えようと全国各地飛び回っている。

草伏さんは、「学校でどうすれば感染しないかではなく、感染者が今、どんな思いで生きているかを伝えて欲しい。そして私たちがあくまで普通の人間であることを・・・」と話す。

エイズワクチンの可能性—「ヒト」と「サル」ウイルスを組み替え—京大研究所が有効性確認

世界初のエイズワクチン開発につながる可能性が出てきた。

設置決定、まだ10県のみ—エイズ治療の「拠点病院」

設置するよう通知してから1年、設置は2割にとどまっている。宮崎・千葉・滋賀・奈良・香川・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分の10県だけ。

入国、特例で初許可—エイズ会議出席、元売春女性

「売春経験があることを告白しながら入国を認めるのはおそらく初めて」としている。

エイズ孤児—働き盛り次々犠牲、畑荒れて栄養失調—ウガンダ

働き盛りの大人が次々と死んで行き、村には女性と老人だけが取り残された。

★ 8月

エイズ感染者の精液からウイルス除去—人工授精での出産に道

精液中のリンパ球と精しょうと呼ばれる液体にウイルスが含まれているが、精子も含めいずれも比重がわずかに異なる点に着目。この違いを利用し、男女生み分けに使われているパーコール法により精子を遠心分離した結果、精子だけ得ることが出来る。

シリーズ エイズと向き合って

<上>語り始めた患者—「人間の愛情が特効薬」

人間の愛情。それはエイズより確実に強く、特効薬になる。患者たちは理解者の前で語り始めている。支える人たちがいる。その輪の中で生き方の転機を迎える人も出ている。

<中>支える思い縫いつなぎ—早く当たり前の病気に

7月末の「AIDSメモリアル・キルト in 松本」、長野県の小中学生 3500 人が赤いリボンを縫い付け一人ひとりメッセージを添えた。エイズなんかに負けないで、当たり前の友達でいる。もっと沢山のの人に分かってもらえるように……。若者たちのストレートな思いが 19 畳の大きさになって縫いつがれた。

<下>薬害・・・自分の患者にも—「医療」見直す転機に

「エイズ」との出会いが大きな転機となった。松本市で血友病の治療に当たってきた医師は自らを振り返る。エイズ以前自分のテリトリーでは考えられなかった。やがて血液製剤による感染が自分の患者に及んで考えが変わった。「この病気は、注射を打ったり薬を飲ませるだけでなく、もっと幅広く関わらないと患者さんを診られない」。死の臨床についても踏み込んで考えるようになった。患者を診るためには、医療現場を離れてどんどん社会の中に入っていかなざるを得ないとも、考えるようになった。

国際エイズ会議開幕—「女性」中心テーマに、アジア初会議 首相日本の貢献約束

「第十回国際エイズ会議」が 11 日夕 6 日間の日程で横浜市のパシフィック横浜で始まった。

皇太子は「エイズは人類にとって解決が急務となっている重要な課題」。村山首相も「わが国としては、エイズ克服に向けて国内施策の充実と国際協力の進展に一層努力する」と挨拶した。

エイズ感染、昨年 300 万人—アジアの急増指摘

合計 1700 万人を超え、アジアの急増を指摘した。

日本初のワクチン—年内にも臨床実験

結核予防ワクチンの BCG に HIV 遺伝のごく一部を組み込んだワクチンを、開

発したと、9 日発表する。日本の第 1 号となりそうだ。

● これより、「エイズ会議」版となる。

三次感染も—アジアの患者、1 年間で 8 倍・・・背景に貧困と偏見

「このままでは、アフリカを抜くだろう」と WHO のマーソン博士は言う。

予測では 2000 年までに、世界の患者・感染者は累計 4000 万人と見られ、この内アジアは現在の 250 万から 1000 万人に急増すると予測される。

教育の遅れ、売春行為など社会的要因と偏見・差別による感染者の潜在化が蔓延の背景にある。厚生省の報告では、感染者の 56% が配偶者か恋人との性交渉からの感染で、売春による感染は 19%。「感染に気付かず、身近な人にうつしていく二次、三次感染が広がってきたという」

地球規模での対策が必要と警告する。

赤いリボンは支援の目印—胸につける市民増える

理解と支援を表すシンボル「赤いリボン」を胸につける人たちが増えてきた。500 円のリボンは 1 万個が売れ、追加 5 千個もわずかという。

国・地元あげて準備着々—開幕に向け関心高まる

【受け入れ】地元では、積極的に応援体制がすでに出来上がっており万全である。「後方病院」、ホテルの従業員の指導、観光地や旅館の講習会など。

【ボランティア】30 人の募集に 375 人が応募、日替わりで高校生から 75 歳の男性など 310 人を採用した。

【グッズ】「エイズ・グッズ」のバッジや、J リーグのポスターの関心が集まっている。

【発表】注目される治療薬の研究では、AZT と抗ウイルス薬「プロテアーゼ阻害剤」に期待が集まっている。また、「エイズ孤児」「女性とエイズ」など社会的な意味での問題においても議論される。

参加者の入国始まる

海外の申し込みは、米 124 人を筆頭に計 4428 人、122 カ国に上る。

異例の官民合同事務局—海外参加者、日本式と評価

事務局のメンバーは官民の分けなく、民間代表の意見もどんどん採用される実情を見て名付けた。「ジャパンモデル(方式)」として注目を集めている。

エイズ会議開幕—8月7日

122カ国から千〜千五百人の患者・感染者。ボランティアを含めて、約1万人が参加する。

「私は人生あきらめない」—血友病患者、熱い訴え

東京HIV訴訟原告団が中心となって開催したシンポジウム「薬害エイズに真実」では、血液製剤で感染した患者の苦悩を訴えた。「政府の対応が早ければ防げた」と強調した。

「勇気ある起立に拍手」—呼びかけに応え、患者ら100人

「プリーズ・スタンダップ」——開幕式。壇上から感染を公表しているボランティア団体の代表の呼びかけに患者・感染者が次々と立ち上がった。約4000人の参加者から大きな拍手が起こりしばらく鳴り止まなかった。大石さんの挨拶だった。「患者・感染者の人がいたら立ち上がってください」民族衣装のアフリカの若者、ピアスをつけた白人女性、アジア系の男性・・・「これだけの仲間がいるんです、私たちは一人ではないんです」その数約100人。皇太子も拍手を送られ「お話は承りました」。美智子様から「これからも頑張ってください」と声をかけられた。

「国際エイズ会議開幕」—128カ国・地域、1万5千人

スローガンは「地球規模でエイズに挑む」。皇太子は「エイズへの挑戦は多面的な取り組みを必要としています。患者・感染者、その家族、介護者の方々とも互いに手を携えて進めなければならないものであると思います」。大石さんは「この会議に各国から多くの患者・感染者が参加している。私たちは辛くてもエイズ時代を生き抜かねばならない。この会議は、私たちにとっても重要なものだと言うことを覚えていて欲しい」。村山首相は「世界の研究者、患者・感染者らが一堂に会して幅広い知識を交流することは誠に意義深い」と祝辞を述べた。

感染爆発の現状報告—早急な取り組み訴え

マーソン博士は、「この1年で世界に感染者は、1400万から1700万人に増えた。

特に東南アジアで100万人増と著しい」と実態を報告した上で「アジア諸国は現実を目に向け、予防を国の優先事項にしてもらいたい。若い人が無知によって次々と死んで行く。もう待つ時間はないのです」と各国の早急な取り組みを訴えた。

発見論争、2博士が握手—HIVの撲滅へ協力誓う

決着後両博士は初めて同席となったが、研究の第一人者らしく撲滅に向け今後も協力して行くことを誓い、固い握手を交わした。

長期末発症者の最新データ報告

HIVに感染しているにもかかわらず、十年以上も発病していない長期末発症者や、母子感染などに関するデータが報告された。長期末発症者については、患者が元来持っている強い免疫力や、たまたま弱いウイルスだった点などを指摘「エイズ研究で最もホットなテーマ」として報告された。母子感染では、AZTの投与により母から子への感染を非投与の3分の1に激減できるとの報告もあった。

10分間で「感染」判定—緊急時の検査に期待

帝大・松田助教授が発表した。4時間程度かかる現在の方法と違い、緊急手術時や途上国での簡便な検査法として期待できる。

核酸がウイルス増殖抑制—切り刻む性質を利用

HIVの遺伝子をハサミのように切り刻んで増殖を抑えてしまう遺伝子治療が有望であると発表。核酸の一種である「リボザイム」を使う方法である。

自身も感染、米人記者—取材に情熱燃やす

3年前に陽性と分かった米国人記者、ステイブン・マックガイアさんは毎朝6時半から始まる会合(前日の会議内容を説明する会議)に欠かさず参加している。早朝から夜遅くまで精力的に研究発表に足を運んでいる。「帰国後書かなければ、感染者でなくても懸命に取り組んでいる記者がいるから」。エイズ報道に燃える。

母子感染に、AZTが有効

投与しないグループは25.5%感染したのに、投与グループは8.3%と3分の1になったことが報告された。今のところ副作用は出ていないという。

「今後10年で、2000万人死亡」—HIVが結核発病促進

WHOは「エイズの爆発的な広がりアジアは、結核が蔓延する新たな危機にさらされている」として、各国へ早急な取り組みを求める緊急声明を出した。HIVに感染している場合は通常の30倍に上るといふ。

外国人ホステスに突撃取材—売春の実態を追うタイ人女性記者

熱帯夜続くハマの歓楽街へ、母国語で会話、心解きほぐす。

9日横浜福富町へ、路上には売春婦はいない。県警の警告があったためだ。変更してタイ人が働いているスナックへ。取材していると言うと追い出された。次に高級クラブへ客として行き、母国語で会話、取材、ホステスたちは「エイズは怖い」「定期的に検査を受けている」と言う。「今回の会議は関心がある、でも時間がない。」夫、子どもと別れ家族のために来日。洋服は高い、客がいらない日は五千円にしかない。「売春はなくなっても知れないが、正しい知識を持てば、感染は防げる」と記者は話す。

夫婦一方が感染者、コンドームで安全—会議で発表

欧州委員会・疫学センターが調査。英・仏・独など8カ国で、片方が患者・感染者の夫婦245組を調査。常時使用している124組は、感染は全く見られなかった。不定期に使う121組の内12組が感染したと報告。

“エイズと闘った”死、悼む—会議に参加している支援団体が散骨

11日午前、会場近くで2月に亡くなった仲間の追悼集会を行ない、日本のNGOメンバーが遺灰を横浜港に花束と共にまいた。その遺灰は、今回出席する予定であった米国人男性。

3500の研究成果を発表—閉会式で「差別批判も一次は2年後カナダ

塩川氏は、「この会議は多くの輝かしい希望を与えてくれた。エイズ克服に向けた

出発点とすべきだ」と挨拶したが、ある支援団体は「患者・感染者の入国を拒否するなど、差別のある国では二度と会議は開かせない」対応を批判する一幕もあった。

偏見・差別克服は長期戦—閉幕

エイズが発見されてから十年以上経過したのに、相変わらず患者・感染者に対する差別や偏見が強い。エイズとの闘いと伴に長期戦であることが認識され、どのように対処するか課題は多い。

編集手帳—国際エイズ会議より

参加者の多くは、赤いリボンを付けていた。ニューヨークの芸術家が偏見をなくそうと始めた運動。リボンは理解の象徴だが、各国の差別はまだ多い。私の感染者は、「感染者の旅行は、キルトの異動より制限されている」と訴えた。また、マレーシアの大学助教授、「東南アジアで多くの子どもが売春によってエイズの危険にさらされている」と警告。

以上が「第十回国際エイズ会議」の記事である。終了！

エイズ抑制、遺伝子治療—全国初、熊本大が申請

感染者にそのウイルスの遺伝子の一部を体内に入れて免疫力を高め、発症を抑える遺伝子治療の臨床応用を発見。学内で承認されれば文部省の中央審査にかけられる。

血友病患者ら提訴—東京HIV訴訟第6陣、対象者91人

平成元年十月に提訴された「東京HIV訴訟」の第6陣で、対象者は24人（うち6人死亡）これで、同訴訟の対象者は計91人（うち31人死亡）。

社説—広がるエイズと日本の役割

WHOの推計では今年7月1日現在、世界の患者は400万人と昨年同期より60%増えた。アフリカが多いがアジアでは1年間に3万人強から25万人と一気に8倍も増えている。特にタイでは感染者は人口の約1%の60万人と言われる。少女買収や麻薬注射の回しうちによって広がった。母子感染も増えているという。そんな中、単に医学・防疫面だけでなく、貧困への対策や、教育への援助など日本への期待が高まっている。

60人に1人が感染—売春法で逮捕の外国

人女性

厚生省HIV疫学研究所が確認。平成元年までゼロだったが、2年以降に調査した758人のうち13人の感染が確認された。新宿、大久保周辺が多い。

エイズ治療、4割未経験—厚生省HIV研究医

「いつでも診察」54%、「血友病患者に未告知」40%

感染予防・治療に関する研究班の医師である。予想以上に多いと問題視されている。背景には、エイズに対する医療機関の偏見もあると見られている。また、告知については未告知が40%に上っていることも分かった。「二次感染防止のためにも積極的に告知すべきだ」と指摘している。

医療行為でのエイズ感染—患者に人権、医師に生存権

エイズの10人に1人—多い女性の感染、孤児の急増深刻・ウガンダ

約1800万人の国民中10人に1人が患者・感染者であるという。一夫多妻の名残、貧困などにより、女性が多い点に注目。

広がるエイズ、医療費にも影響—来年度には1兆5200億円・アメリカ

米国の医療費の高騰の要因として、エイズの蔓延が上げられる。入院費、薬剤費、診療報酬、介護費用、自宅療養費、カウンセリング、ホスピス費など。一人当たりの年間平均額は患者で3万2千ドル(320万円)、感染者で52百ドル(約52万円)。

エイズ治療薬ddC使用認可—米食品医薬品局

ddC(ジデオキシシチジン)で知られる治療薬「ザルシタビン」を単独で使用するのを米国は認可した。ddCは「HIVID」の製品名で、AZTとの併用が義務付けられていたが、今回の承認で単独で使えるようになった。これでAZT、ddI、d4Tと合わせて計4種類となった。

人類脅かすエイズとの闘い—社説

国際エイズ会議を機会に私達はエイズへの無関心、冷淡、偏見、差別などを排除して正しい知識を身に付け、克服へつながる道筋を切り開いていきたい。エイズは決して他人事ではない。

国際エイズ会会長は「エイズとの闘いは十年前に考えたよりはるかに長くなるだ

ろう。この会議が長い闘いに不可欠な活力と忍耐を与えてくれることを願ってやまない。」と語った。

足りぬ予算、迫る時間—エイズ、アジアで感染爆発

貧困、風土が患者増やす 結核併発も脅威

国境を越えた人的交流が進む中、日本も決して“対岸の火事”と手をこまねいてはいられない。

アジアの感染者数は、推計250万人、その4割が女性。最大の原因は貧困。売春でしか生活を立てられない女性達は、無知そしてコンドームを買う金もない。男性の客を通じ、感染→家庭。

エイズ検査で国際貢献—途上国に重点援助、また比に機器3億円・政府方針

「エイズには国境はない。国政的な協力をしていかなければならない」(村山首相)。フィリピンに対し、9月から4年間で約3億円相当の検査用医療機器など提供するのを始め、秋以降インドネシアやインド、アフリカ地域などに相次いで調査団を派遣、各国毎に具体的な支援策を検討していることにしている。

子どものエイズ—世界で様々な取り組み・エイズ会議からの報告

- ・ ルーマニア—子どもの多いルーマニアからは、日本人医師が東洋医学を取り入れた治療を続けている医師を紹介。漢方治療で、大半が軽快

- ・ アメリカ—感染乳児におくるみ10万枚、日本にも広まり
エイズのかかった赤ちゃんにキルトのおくるみを送ろうという「ABCキルト」

運動の提供者が来日し講演。この運動は加・英・仏・日本にも広まり、米を始め
タイやアフリカにも送られる。

パリダカで予防に“走る”—来年、避妊具10万個贈る—東京の会社社長

ビデオ会社社長で、第17回ダカール・ラリーでのこと。「レースを通じてエイズ予防に役立ちたい」、「HIVが発見された

アフリカの大地を走るのだから」。日本ゴム工業が協力、レース期間中に日赤を通じて、アフリカ諸国の赤十字社が政府に手渡す。

エイズキルトで感染者の支援訴え

「エイズで倒れた人がどんな風に考え、苦しんだかをメモリアル・キルトから感じて欲しい」と「キルト・フレンズ」の若者たちが薬害裁判や国の責任問題への関心から、感染者の支援をするようになった。

女性用コンドーム、エイズ会議で配布

「女性用コンドーム」がFDAで認可された。そのサンプル二千個が、1日でなくなった。「女性から男性に頼みにくいことから、女性用コンドームが必要なんです。多くのカップルに知ってほしい。

「彼のいない八月が——エイズ宣言した平田豊さん、2年間の生活記録」——フジ深夜1:20

ビデオテープ300本、死への過程淡々と。39歳で亡くなる1週間前までを追いかけて続けた。

☆ 9月

同性愛者の医師がエイズ患者に見方

アメリカでもゲイやレズビアンはまだまだ差別されている。ゲイやレズが集まる団体の医師らが、「エイズ予防には教育が何より大切だが、それと共に同性愛者や両性愛者の性向をひた隠しにしないことも大事だと思う」ゲイ医師ならではのアドバイスをしている。

エイズ問題に受身の日本——米コロンビア大学院生、国際エイズボランティア通訳

キース・ビンセント

エイズ会議の中に原宿で写真展が開かれたが、日本人の患者が一人も写っていないのはどうしてなのか。一枚のポスターがある。これは米国旗を掲げた異人船が横浜港に入港する絵だ。その絵の中には日本人が描かれていない。だがニューヨークで調べた原画には日本人がちゃんと描かれている。カットされていたのだ。写真展やポスターには他意がないのは明らかであるが、結果的に私たちに、エイズは日本では今でも「異人の病気」で、日本人には関係ないものという印象を与えた。

会議の目的は、エイズを目に見える自分たちの問題として捕らえ、沈黙をやめよう

と呼びかけることでもあったはずだ。(中略)日本人はいつまでたっても受身のままで。

「何か」が私を選び書かせた——「愛死」の連載を終えて——瀬戸内寂聴

296日間、一回も穴を開けることなく完了。中国では「愛死」は、「エイズ」をあらわした時もあると聞いた。無智で恥ずかしかったが半年間勉強し、書いた。

小説の中にはモデルはいない。作中の中の昌平にフアンがたくさん出来たという。死ぬために産まれて生きていかねばならない人間の切ない生涯を尊厳するものこそが「愛」だと私は思う。「エイズ」は愛の踏み絵だと思う。——時間がある方はぜひ読んでみては？！

米で、エイズ予防に麻薬対策——世界の論調より

米ボルチモア市(メリーランド州)では、エイズの蔓延を防ぐために麻薬常習者に注射針を配ることに決めた。新たな感染者の発生を減らす目的である。

エイズ誤診に、60万ドル——精神的苦痛認める——米州裁判所が損害命令

一時は自殺まで考えたという誤診された女性が、病院と担当医、血液検査を行った州医療機関を相手取り損害賠償を求めている訴訟で、60万ドル(約6千万)を支払う評決を決めた。

患者・感染者再び急増——7・8月、三番目の大量確認

二ヶ月間で新たに92人(血液製剤除)確認された。平成4年7・8月の100人、同9・10月の98人に告ぐ三番目。患者の46人は最多。

塩川、エイズサーベイランス委員長が辞意表明

「国際エイズ会議も終わり、この際人心を一新して対策を強力に進めてほしい」と話している。

リズが東京でチャリティ

女優の島田陽子、名取裕子、歌手の谷村新司さんら約400人が参加、総額3千万円に上る収益金が見込まれ、国内および途上国の対策に充てられる。

席上、エリザベス・ティラーさんは「日本はまだ谷間にいます、みんなでエイズと闘っていきましょう」と語った。

☆ 10月

AIDS知ろう館、池袋にオープン—高い関心に答え、資料を常時展示—自治体初
豊島区の中学・高校などから「文化祭や授業で取り上げたい」と資料の貸し出しを求められるなど、関心の高まりに答えようという狙い。

ATL治療実験で、エイズウイルス使用—熊本大

病原性をなくしたHIVを遺伝子の運び手（ベクター）として使い成人T細胞白血病（ATL）の細胞を殺す遺伝子治療の基礎実験に医学部の医師らが成功した。

乳児にも治療費—血液製剤のHIV母子感染—来年度から、厚生省

二次感染の妻、支給分もアップ

エイズ予防のための医療費である「健康管理費用」を症状に応じて支給する。同時にこれまで支給してきた感染者や、感染者から二次感染した妻への「健康管理費用」のアップも検討する。

エイズワクチン大規模臨床実験—WHOが方針

欧米で開発された数種のワクチンを臨床実験することを、専門会議で決めた。96年以降の見込み。「意義ある前進」としている。

エイズ検査薬、販売元が回収—独製、感染でも陰性

12万人分、既に使用 厚生省、再検査要請も

ドイツ製試薬が、実際に感染している場合でも陰性と間違えて判定される可能性があるとし、出荷を停止し回収に乗り出すことを決めた。約15万人分が出荷され既にその8割が使われているという。この検査薬は、ドイツ医薬品メーカー「ヘキスト」の子会社「ベーリングベルケ」が製造、日本のほか32カ国で販売されている。

医官、緊迫の手術—銃弾摘出、感染の恐れ
ゴマのルワンダ難民—ザイール発

自衛隊派遣部隊の医官が、これまでに手術した患者10人のうち5人がHIV感染者だった。ルワンダやザイールはエイズ多発地だけに、二次感染の危険という新たな問題に直面しているという。

アフリカに7割集中—患者・感染者

WHOによると、患者400万人のうち7割近くがアフリカに集中、特にサハラ砂漠以南に多く感染者を含めると1000万人以上といわれる。

国内では、ミスなし—回収のエイズ検査薬
ドイツ製エイズ検査薬の誤判定問題で、日本は全国6都県を含め10箇所の保健所・衛生研究所で使われていたが判定ミスの可能性は無かったことが報告された。

☆ 11月

エイズはあなたと無関係ではありません
—東京都広報

STOP AIDS 共に生きる町、東京

知識だけでは、エイズを克服することは出来ません。都は11月16日から12月15日を「エイズ予防月間」とし、いろいろな催しを行った。

○ エイズは今・・・家族みんなで

日本では8月末現在、患者・感染者は1709人（血液製剤除）で、そのうち都は566人（33%）を含めている。克服のために、地域の勉強会、学校の文化祭、職場の健康教育などあらゆる機会に家族、友人、パートナーなど身近な人と共に真剣に考えよう。

○ エイズを知り、行動を

「自分だけは大丈夫」「自分には関係ない」と考えて、知識が行動に結びついてはいませんか。「コンドームを正しく使う」「勇気を出して検査を受ける」「偏見をなくす」など、ちょっとした「行動」がまん延を防ぎます。

○ エイズ医療

現在、エイズ診療をしている医療機関は、他の病院の院内感染にもきちんと対応できる「安心できる病院」です。このような病院をもっと増やさなければなりません。都民の理解が必要です。

エイズ母子感染が10%以下に—AZT集中投与 ワシントン発

HIVに感染した妊婦にAZTを投与すると、母親から新生児への感染率が10%以下と、何もしない場合の3分の1に減ることが米国の臨床試験で確認された。

理論とQ&A 程よい程度で

「家庭でできる性教育」（東京都性教育研究会会長・武川行男）の中で、「性教育のき

っかけは「命のたくましさと神秘」「お母さん、そこ見せて」「エイズのうつり方教えて」などが語られている。

コンドームもPR「市民権」—初のコマーシャル—オカモトとベネトン提携

「性を連想させ青少年への影響が大きい」との批判の中、放送時間帯を深夜11時以降に限定。

HIV増殖抑制—白血病治療薬の効果発見—ワシントン発

30年以上も使われてきた白血病などの治療薬「ハイドロキシウレア」に、HIVの増殖抑制効果があることを突き止めた。AZT、ddIなどの併用で効果が期待できそうだ。

エイズ患者を“差別”—治療に国外脱出の例も—NY誌が、日本レポート

社会や家族に感染の事実を恐れてハワイのワイキキ・ヘルスセンターまで検査に訪れる日本人の例を挙げ、「エイズは日本では肉体的障害者と同じく恥と汚名の源」で、その差別の奥には外国人と同性愛者に対する差別もあると論じている。

エイズ告知進まず—「全員に」43%、「一部に」28%

二次感染、初調査で33件判明 プライバシーにも問題

医師から告知されず妻に二次感染させてしまった40代の男性は、「二次感染はもっと多いはず、エイズと分からずに亡くなっていった妻や恋人もかなりいると思う。調査結果は氷山の一角に過ぎない」と指摘している。

遺伝子の働き解明—HIVの増殖の引き金 医薬品開発の決め手?

米ペンシルバニア大の病理研究室が、HIVの複製・増殖を司るウイルスのうち遺伝子の働きを明らかにした。

欧米15社が開発で協力—エイズ根治への異例の体制

併用療法の薬品、互に情報交換

この中心は、米メルク社で各社間の調整に当たっている。現在、三剤投与による臨床試験を進めている。メルクのプロテアーゼ阻害剤とAZT、ddI併用による初期の結果が来年早期に出る。日本では「味の素」の米国関連企業も参加している。

エイズ孤児に愛情エール—アマレスの山本美優さん、ルーマニア慰問

何が出来るのか、同世代に訴えたい 前政権の悲劇、感染2700人

チャウスシェスク政権時代の悲劇といわれる「エイズ孤児」(避妊と中絶を禁止したが、貧しい家庭は子育てが出来ず多くの子が孤児院に送られた。そこで注射針を換えないずさんな治療などで次々に感染、広がっていった。同政権が倒れた後も経済困難は続き、エイズ孤児のケアも行き届かなかった)を励まそうと女子レスリングの女王が現地を訪問した。

山本さんは「子どもたちに一番必要なのは、愛情だ」「あの子達に何が出来るのか」答えは出ない。「同世代の若者にもつと世界のことを知ってもらいたい」と訴える。

22歳、米のエイズ啓蒙家死亡—ロック時代に予防訴え続け、クリントン大統領も追悼表明

死ぬと分かると怖い、でも、もっと嫌なのは友達が同じ失敗を繰り返していること

その名はペドロ・ザモーラさん。17歳(高3)のときに感染を告知された。自分をゲイの感染者と公表、以来全国の高校や議会のエイズ問題公聴会などで精力的に若者向けの予防活動に取り組んだ。大統領は「ペドロは、エイズと共に生きる人々にどうやって自分の権利を勝ち取るか、どうやって威厳を持って生きるかを教えてくれた」と異例の追悼表明を発表した。

エイズ特効薬開発!?—従来の薬と併用、ウイルス急減効果

カナダ各紙が発表。同国が開発した抗エイズ新薬「3TC」を「AZT」と併用投与して、試験でHIVの著しい減少効果が確認された。

エイズ対策まだ低調、心身両面に支援必要—優しさのカルテシリーズ、職場の健康づくりより

松下グループ、松下健康管理センターでは、感染が分かった場合センターの保健婦らが生活習慣や生き甲斐作りへの相談に応じるなど心身両面で支援するシステムを作っている。「感染しても節制すれば発症を遅らせることが出来る」。対策を講じている企業は、37%に過ぎず「エイズはまだ対岸の火事と考える企業が多い」といわ

れる。国民の約 60%は企業の従業員か家族、「エイズ対策は、職場で行うことこそが効果的で効率的」である。

18 歳、「僕はエイズ」—未成年の公表、国内で初—涙、差別体験を告白

輸入血液製剤で感染『匿名では伝わらぬ』

「エイズ感染者の僕をこのまま見殺しにしないで下さい」18歳の少年がHIVに感染している事実を公表、実名を明らかにしながら苦しみを訴えた。母親は「被害者なのに犯罪者のように扱われているのが感染者の実態。息子が胸を張って生きたいのなら、名前を出すことを避けては通れない。その気持ちと息子の尊厳を尊重したい」と語った。

参加都民 5000 人減る—エイズデー・イベント

12月1日の世界エイズデーを前に全国で「エイズに取り組もう！家族みんなで」を統一テーマに様々な活動がおこなわれたが、都では参加者に大幅な減少が見られ、関心の急激な低下が伺われた。一昨年 14,000 人、昨年 19,000 人、今年は 14,000 人であった。

☆ 12 月

性的接触 1,776 人に—初めて「血液製剤」上回る患者・感染者

今年 9-10 月は 67 人。累計では性的接触が 1,776 人で、血液製剤の 1,772 人を上回った。

予防推進と差別解消訴え—エイズデー、各地で催し

渋谷のハチ公前広場では、感染者とエイズ予防財団の主催でパンフレットを街頭で配り、チャリティーオークションも行った。

エイズウイルス阻止—無害化で予防の可能性も—ヘルペス・ウイルス

ヘルペス・ウイルスの一種が、リンパ球に侵入する HIV を阻止することを愛知大医学部のグループが突き止めた。これを実用化すれば予防につながる可能性があるとしている。

エイズの発症、予測できます—大阪の衛生研が開発—ウイルスの「強さ」、検査 1 年前から対応可能

HIV の「強さ」を把握して臨床診断に使う方法を開発した。これまでリンパ球の数

の減少でしか分らなかったが、両方の検査の併用により約 1 年前から発症の予測が可能になったという。

差別なくならぬ日本のエイズ報道—言いたい放題・辛 淑玉-企業コンサルタント

サーベイランスの発表される感染者数を見ると、外国人女性の数が偏った見られ方をしている。

例えば、「8月31日までの感染者の累計は日本人女性 8 名、その他の国の女性 29 名・・・」と報道されれば、外国人女性がウイルスを持ち込んできたかの錯覚を促すのではないだろうか。また、接客業で日本に連れられて来た多くの外国人女性は、日本人男性によって感染させられるケースも少なくない。それなのに事情を知らないメディアによって加害者のごとく扱われる。今日のエイズ報道である。

エイズ告白し、エイズに死す—米の女性

妊娠中に輸血がもとで感染、母乳で二人の子に感染させたエリザベス・グレイザーさんが合併症で亡くなった。

クリントン政権の誕生を訴え、エイズ撲滅のため全米各地で講演活動をおこない、エイズにかかった子どものために基金創設を展開していた。

エイズサーベイランス委員長に山崎修道さん—2 代目—

「患者と感染者数にとどまらず、エイズを防ぐ具体的な戦略と先頭に立って提言していきたい。それが強く求められる時期に入ったのです」と語った。(千葉大医学部卒・京都市生まれ)

エイズ予防へ住民啓発教育—日本のアフリカ友の会

中央アフリカ共和国は人口 300 万人強、そのうち 10~15%が感染者と推定される。アフリカ友の会は、92 年から医師・看護婦・臨床検査技師・助産婦を派遣、各市や村々をまわっている。

母子そろって公の場に—被害エイズ感染『特別視しないで』都内のシンポで訴え

差別・偏見を恐れこれまで人前に出ることを避けてきたが、来年に予想される「東京 HIV 訴訟」の判決を前に「感染者は犯罪者ではない。人前に出て堂々と主張したい」として踏み切った。

エイズの語り部—人形劇とキルト携え行

脚、理解と共生メッセージ

「ボク、実はエイズなんだ」「でも私たちは友達よ」。カラフルなキルトをバックに、人形が患者・感染者への理解、共生を訴える。全国の学校、公民館、保健所で松本の木島さんは人形講演を行っている。

95 年はどんな年？—大吉—エイズワクチンの開発、凶—大天災・失業

世界の予言者に、仏通信社が質問。仏・伊・ポルトガル・ブラジルの予言者に聞いた結果である。明るい材料は、「95 年末までにエイズ防止のワクチンが開発される」であった。

唾液でエイズ検査—血液より精度低い—FDA が認可

綿棒を歯茎と頬の間に入れて唾液を吸引させ判定する。テストでは、陰・陽いずれの場合も誤判定率は 2 %、従来より精度が低いという。判定法は医師に限るという。

エイズと闘うぞ！！

作曲家三枝成彰さん、写真家浅井慎平さんら文化人が「エイズ・フォーラム '95」を開催。東京・大阪・福岡・名古屋・札幌の 5 都市で展覧会を行う。”今、地球の一人として私たちに出来ることは何か“を考える機会を提供することを目的として開かれる。

女性エイズ患者生存率低い

感染した場合、男性に比べ女性のほうが生存率が低く、患者の主要な死因である肺炎にもかかりやすいという研究がシカゴの医師会が発表した。

【1995 年(平成 7 年)】

☆ 1 月

主都の感染者急増—バンコク、原因は文化と男性

タイのエイズは教育程度や収入が低い層に多く、正しい情報が届かない。問題なのは、複数の妻を持ったり売春婦と関係するのが当たり前のような「タイの文化と男性の行動」である、という。

患者 100 万人突破—WHO へ報告

102 万 5 千 73 人 (12 月 31 日現在) に達したという。しかし、実際は感染者約 1950 万人、発病は 450 万人以上に及ぶと推定している。

初の専門病棟—国立療養所東京病院に 7 月開設

治療や重症患者のターミナルケアを積極的に行う。精神的な支援も重視、精神科医やカウンセラーによるカウンセリングの充実も図る。

知識だけで偏見消えず—職業別意識調査「共感を生む啓発を」

聖マリアンヌ医科大、順天堂、川崎市営前保健所のグループが発表。主に関東地方の会社員など 1256 人に質問。基礎知識 10 問、偏見や差別について 11 問。

基礎質問の平均正解数は 7.98。保健婦 8.74、会社員 8.06、大学生 8.01、警察官 8.00、高校生 7.96、主婦 7.83、であった。偏見・差別では平均 4.69。警察官 6.2、会社員 4.91、主婦 4.84、高校生 4.73、保健婦は最低で 2.29 であった。この結果から、必ずしも知識があるほど偏見・差別意識が少ないとは限らないと結論付けている。

医師として、エイズ教育と患者支援に走り回る—吉永陽子さん

知識はあるが、差別偏見の根強い人も多い(上記アンケート結果から)、もっと患者や感染者の立場に立つこと、「共に生きる」ということはどういうことなのかを真剣に考えること。「うつりさえしなければよい、という教育は差別を助長している」と二児のママである川崎市営前保健所主任は言う。

エイズ診察、続く偏見—拠点病院まだ 19 県、39 機関

関西医科大学付属病院で「診療拒否」が起きた。この男性は、「特殊な病気というイメージが根強く、エイズといっただけで医師の態度が変わってしまう。日本でエイズが確認されてから 10 年もたつのに診療を受けられる病院は数えるほどしかない」と訴える。

エイズ感染を公表、バーナーさん死去—在日 11 年幅広い活動・米国人 54 歳

エイズによる全身衰弱で亡くなった。84 年に来日英語講師として勤務、性交渉による感染を日本で 2 番目に宣言すると共に国内感染者にカウンセリングを始めた。また、宿泊拒否問題、行政へのエイズ対策の訴えなど広範囲な行動を行ってきた。

☆ 2月

新たに435人を確認—患者・感染者

昨年1年間に国内で新たに確認された患者・感染者は、前年より71人増え、435人だった。累計1845人(男1053、女792)、血液製剤を含めると3637人。

妊婦検査を無料化—「母子感染」防げ—千

葉県12月から、全国2番目

妊婦が通っている産科医院など。青森について2番目。

私はエイズ—ロス・ソウル男子飛び込み金メダリスト

陽性判明後ソウル五輪参加、頭部強打で出血した米国人グレッグ・ルガニス氏がHIV感染者であることを告白した。マジック・ジョンソン、故アーサー・アッシュ(テニス)に続く3人目の告白。しかし、IOC事務総長は宣言の義務は無かったと語った。

肝炎患者、エイズ感染—非加熱血液製剤で

10年前に投与された十代の患者。血友病以外では2番目。他にいる可能性があると見て、早急に全国調査に乗り出すことをエイズ研究班は決めた。

☆ 3月

19歳原告が実名公表—「イメージ変えた」

その人は、都内在住の川田龍平さん(19)と、母の悦子さん(46)

エイズ新薬など開発支援—厚生省13品目を指定

13品目のうち5品目がエイズ治療薬で、「プロテアーゼ阻害剤」も含まれている。

昨年過去最高の36人—日赤献血者のエイズ感染発覚

エイズ抗体検査でカウンセリング重視—ハワイの医療事情

「検査は本来予防のためのもの。社会疫学上は人にうつさなければいい。大切なのはカウンセリングで、ハワイ州では検査の前後に行うよう義務付けられている」

「許せぬ薬害」—東京HIV訴訟、明日結審—患者・家族の手記出版

提訴から5年ぶりに結審するのに合わせ、手記を出版する。

「薬害エイズ、原告からの手記」(三省堂刊・1500円)

20歳の女性は「お医者さんって何？人の命を救うんじゃないの？。私十何年生きてきて初めて分かった。病院って人の命を短くするところだったんだ」と怒りの手記を書いている。

東京HIV訴訟、明日結審—提訴から5年、双方主張対立

被告は、国とミドリ十字(大阪市)、財団法人化学及血清療法研究所(熊本市)、バクスター(東京)、バイエル薬品(大阪市)、日本臓器(大阪市)の五社。

東京HIV訴訟、5年ぶり結審—原告ついたて外し陳述 4次提訴分まで「一日も早い判決を」

3人の被害者は「これ以上見殺しにしないで欲しい。一人でも多く生きている間に一日も早く正当な判決を」などと訴えた。

東京HIV訴訟結審—年内にも判決、患者原告20人死亡

三被告初めて素顔見せて訴え 「ミーラのような体」「常に“死刑執行”意識」

エイズ感染者の早期救済をめざせ—読売新聞社説

東京HIV訴訟結審—遅れた「加熱製剤」導入

“危険行為”を放置 感染の予見可能性が焦点

HIV感染で解雇は違法—東京地裁が初の司法裁判—600万円の賠償命令

エイズウイルスが消えた！—胎内で感染した米の5歳児・世界で初めての“治癒”例 胎内でHIVへの免疫を作っているのかも知れない、としている。

遺伝子治療を承認—国に2例目の申請

北海道大学に続き、熊本大病院が2例目である。

国の審査慎重に—エイズ遺伝子治療承認

熊本大で認められた遺伝子治療。国の審査をパスすれば患者5人を選ぶことになっているが、国の慎重な審査が欠かせないとしている。

☆ 4月

エイズ感染率低い、帝王切開

厚生省の研究班が、全国1087病院で実施した結果である。「母子感染を防ぐのに

帝王切開がかなり有効と見られることが分かった。それだけに妊婦側に検査を含めた早めの対応が大切だ」と研究員は言っている。

感染原因など誤解も—8割が関心持ちながら、9割以上が今後の危機感

千葉、エイズで初の意識調査。5人に4人が関心を持ちながら、4人に1人が遺伝だと思っている。

会社側控訴え—HIV 解雇訴訟

敗訴した会社側が、不服があるとして東京高裁に控訴する。HIVの感染者の社会的差別の問題が初めて争われた裁判である。

結核、エイズ合併防げ—研究会作り、対策本格化

「結核、エイズ合併症治療研究所」を発足させ本格的に取り組む。

エイズ治療に有望—トリカブトの毒を逆用、米で動物実験、効果判明

トリカブトのアコニチンが分解して残るアルカロイド化合物の一種「ベンゾイルメサコニン」にエイズの症状を回復させる働きがあることをネズミの実験で明らかになった。

名前公表の原告死去—HIV 大阪訴訟

「大阪 HIV 訴訟」ただ一人公表していた原告代表の石田吉明さん（京都市伏見・49歳）が21日亡くなった。

★ 5月

薬併用で、耐性防止—治療に新たな視点・日本医学界

単独投与では耐性ができ、効果が失われてしまうが併用すると耐性ができにくくなるので多剤併用は病気の進行を遅らせるのでプラスになるという。

診療用エイズ相談—2か月で医師利用2件

日本病院会が厚生省と協力して始めた、医師看護婦向け「エイズ相談電話」は2件だけだった。

★ 6月

“第四ルート” また1例—プロテインC欠損症で非加熱製剤

血が固まりやすくなる「プロテインC欠損症」の出来事。性感染症、母子感染、血友病とならぶ感染の“第四ルート”。

血友病以外の100人に投与—非加熱、エイズ検査もなし

87年以前に全国34病院で100人以上に投与したことが明らかになった。早急に感染の有無を調査するよう呼びかけている。

献血者署名義務づけ—エイズ輸血感染防止、来月から統一問診票使用

統一問診票で署名を求めるのは、献血に責任を持ってもらうためである。

エイズ、小学生にどう教える—教科書に来春から初登場—5・6年生

性交で感染の記述はしないで、血液などとしている。また教室での説明に賛否両論。教えることに関しては、反対派は理解が難しい、賛成派は偏見減らすであった。

★ 7月

新生児治療に多用—非加熱、200近くが判明

血友病以外厚生省集計 エイズ感染再調査

「投与した」と回答した8割の病院で、エイズ検査を実施しておらず二次感染の危険性も出ている。

非加熱血液製剤—ミニ辞典

人の血液を原料にして作る製剤。血友病患者の早期止血や出血予防を可能にしている。

大人にも非加熱血液—出産後の女性に投与

加熱に替わったのが85年12月、それ以前の83年に使われていた東北地方の病院で21日間投与され4年後に肝臓病で死亡した。また、中国地方でも20代の女性が82年に投与されている。

体操界がエイズ対策—鯖江世界選手権前に

ベルリンの国際体操連盟理事会で議論。

“エイズ感染追跡” 医師の義務—非加熱製剤、血友病以外にも投与

新生児、出産後の患者などに投与、少なくとも188人いるという。それをチェックするのが医者の義務である。

血友病以外にも救済—非加熱による感染

本人の申請があれば、従来の救済措置制度を適用することを厚生省は決めた。

『長期未発症者』116人—感染者の6%確認

HIVに感染しても10年以上も発症しな

い上、免疫力もほとんど落ちない患者が百人以上国内にいることをエイズ研究班が発表した。

胃手術の成人感染—第四ルート、非加熱投与、原因不明扱い

10年前に投与、主治医は「感染原因は血液製剤に間違いない」としている。このルートでは初めて。しかし、エイズサーベイランスは「原因不明」としている。

エイズ“第四ルート”—医療現場鈍い反応、責任問題恐れ？相談電話たった2件

「万一感染していた場合、病院の責任問題にもなりかねないので個人の意思では対応しづらい」

☆ 8月

胃の手術でなぜエイズ—50代男性語る「無念」 国と製薬会社「なぜ調査もしない」

「エイズと気付かないために満足な治療を受けず亡くなったり、家族へ二次感染を起こしてもいいのですか。人の命の重たさを考えて欲しい」訴える。

エイズ訴訟は、和解の道を探れ—社説

東京は118人中47人が3月に、大阪では101人中71人が7月中旬に結審している。東京地裁は、早急に和解勧告して欲しい。被告側も責任を認め、全面救済に向け解決に力を尽くしてもらいたい。

献血ルーム問診強化—エイズ感染者献血増加で

問診室を和室化し、問診体制を強化することを厚生省は決めた。

新抗体でエイズ治療—リンパ球の“自殺”を防止

世界で初めて免疫細胞に死を食い止めるたんぱく質(抗体)を作ることに順大医学部が成功した。

免疫細胞の死を食い止める新しいタイプの治療法として注目されそう。

対応遅れの悲劇、国は繰り返すな—東京HIV訴訟、和解求める原告団

先ず救済の姿勢を 被害原告4割すでに他界

米国の加熱製剤への切り替えは83年3月、日本は米国より2年4ヶ月遅れること85年7月であった。この遅れが被害拡大につながっている。

☆ 9月

エイズ感染の復讐・・・5人にうつす?—

そんな事ってあり得る!?

アイルランドの25歳の女性が復讐のため、約80人の男性と性交渉を持ち少なくとも5人が感染したと見られる。だが、保健当局は疑問視している。

エイズ治療DDI—未発症時投与の高い効果を確認

AZTと比較して死亡率をほぼ半減させる効果があったと米国アレルギー感染症研究所が発表した。

不安な“血液サイクル”—エイズチェックもなし「感染しないのが不思議」

「まさか捨てた血液が使われるなんて」——。日赤血液センターの廃血の“再利用”に関係者はショック。

アジア・アフリカでエイズ急増—途上国発展の足かせ

爆発的感染は、一部のアジア・アフリカ地域の発展に深刻な足かせとなり始めた。資金不足で打つ手がない国が多く、日本への期待が大きい。

AZTと他エイズ薬併用—投与中死亡率38%低下—ロンドン発

DDIかDDCのいずれかと併用すると、AZT単独投与より低いことが報告された。

エイズ「第4ルート」感染者、初の本格調査

非加熱を使用していた病院が全国で548あることが分かり、血友病以外による感染者の実態調査を全国的に開始した。

深刻、タイで激増のエイズ—世界の論調より

アジアの感染者800万人のうち、タイでは80万人にいと報告されている。そこで、タイでは国が90億ドルの予算を費やすだろうと経済学者は考えている。

☆ 10月

HIV訴訟、和解勧告—東京・大阪地裁国の責任にも言及

両地裁は6日午後6時和解勧告を行うことを決めた。「所見」を示し、国の責任にも言及すると見られる。提訴から6年で解決に向かう。

「和解案、間に合いそう」—闘病の原告、ようやく光

仲間はず々と命を落としていったが、原告の一人は「生きているうちに和解案が聞

ける、頑張ってきてよかった」と期待を寄せる。

戻らぬ健康、募る怒り—エイズ「第4ルート」提訴へ 患者と妻「真相明らかにして」
胃の手術のとき、非加熱製剤を用いて感染した男性は「体がボロボロになってしまいう、悔しくてたまらない」——国と製薬会社を相手に訴訟することを決めた。

「国の対応に遅れ」指摘—HIV訴訟で和解勧告 和解金4500万円、国4・企業6
両地裁は所見の中で「国の対応が遅れ、悲惨な被害を拡大させた。国には被害を早急に救済すべき責任がある」と踏み込んだ指摘をした。

「これで国と闘える」—実名公表、活動2年語気強め決意 川田龍平さん「責任認めて」
「予想以上の画期的な所見」。原告・弁護団は高く評価した。

争い長引かせた国の「こだわり」—救済は意識転換から、「所見」重い責任を指摘
「法的責任の存否の争いを超えた社会的、人道的見地に立って救済を図り、薬害を再発させないよう最善の努力を重ねることを強く要請される」。東京地裁の「所見」は、「人道的見地からの救済」を提唱した。

☆ 11月

未回収製剤でエイズ感染—加熱剤認可後、患者が賠償訴え
安全な加熱製剤が出回っていた86年4月当時、肝臓病で非加熱を投与された患者が感染していたことが明らかになった。患者は「危険な製剤を放置した責任がある」として、国や企業に対して損害賠償を訴えた。

薬害エイズで死にきれない—東京HIV訴訟、対策訴える原告
和解協議の対象に含まれているが、結審しておらずにいる五〜七次訴訟の原告が東京地裁に口頭弁論で訴えた。

熊本大のエイズ遺伝子治療申請—注目される国の審査—米での有効性は未確認
この治療は北海道大で重症免疫不全の男児に我が国第一号が行われたが、エイズ治療の申請は初めてとなる。

エイズ判定、15日早く
抗体検査は、感染後6〜8週かかるが宮

崎医大では感染判断を約二週間早くすることに成功したことを大阪の学会で発表する。

第4ルートを救済—HIV感染、薬禍の措置適用

「血液製剤による感染が確認されれば血友病の患者と同じように救済措置を講じると」とした。

採用時の企業対応、4分の3が態度保留

東京の大企業9割以上が採用時にエイズ感染の有無に関する質問や検査はしないが、判明した場合、採用については4分の3以上が態度を決めていないことが分かった。

感染防ぐ？抗エイズ薬

ワシントン大の博士らがサルを使った実験で明らかにしたもので、人間にも効果があるものと期待されている。

5番目のエイズ薬確認

FDAは、5番目の治療薬とした「3TC」と呼ばれる新薬を認可した。経口でも静脈注射でも使えるのが特徴。

感染新たに3人—エイズ「第4ルート」計8人、被害30人超す

肝臓病などの治療で用いた血液製剤が原因。

「第4のエイズ」初の死者—先月

85年に胃の手術で感染した50代の男性で、非加熱製剤を投与されて感染。妻は損害賠償の訴訟手続きを進めている。

感染者2000年に、4000万人—国連の見通し、東南アジア急増の恐れ

世界の感染者は今年半ばの段階で推定1400〜1500万人。急増の原因は「売春」「麻薬注射器」特にタイ・ミャンマー・ラオスの麻薬製造国が急増。

第4のエイズ感染者、13人に—検査受診の4人に1人

全国544病院のうち、83病院が回答。投与患者271〜291人でこの内検査を行っているのはわずか5分の1以下の54人。その4人の1人に当たる13人が感染していた。

「遅すぎた調査」に怒り—被害13人確認—九州の国立病院感染判明後も放置

「なぜもっと早く調査をしなかったの

か」。国の対応に怒りの声が上がっている。

9-10月、過去最高の60人—患者・感染者・サーベイランス

血友病患者以外の感染者はいない唯一の県だった佐賀県も初めて別の原因の感染者が確認された。累計は、患者・感染者計4003人となった。

☆ 12月

両親は、エイズです—女子高校生は壇上から訴えた

「父の代わりに訴えていこう、と決意しました」。一人の女子高校生がステージで語り始めた。

父は血友病の薬害でこの夏亡くなりました。母も告知の遅れで感染しました。

「見られたら困る、見舞いに来るな」「葬式はしないでくれ」母と私に父はこう言い残しました。娘は今、「父の思いを伝えるのが残された自分の使命」と立ち上がった。

重複感染して遺伝子を交換—多種類のエイズウイルス

HIV発祥の地と言われる西アフリカでは、様々なタイプのHIVが高い頻度で二重感染し、しかもそのウイルス間で遺伝子の組み換えが起こっていることを京大ウイルス研究所にグループが突き止めた。

エイズウイルス増殖を抑制—免疫物質「IL-16」

体内の免疫細胞が分泌する「インターロイキン-16」(IL-16)というたんぱく質が、HIVの増殖を抑えることをドイツの研究チームが突き止めた。

自己の免疫細胞破壊、ヒヒの骨髄細胞移植—米のエイズ患者

サンフランシスコ病院の医師団は、ヒヒの骨髄の中でも幹細胞でヒヒがHIVに感染しないことにヒントを得て、人間に患者の骨髄をそっくりヒヒの者に入れ替えるという手法。

第4ルート、初の賠償訴え—HIV感染者遺族—大阪地裁へ

国、ミドリ十字を相手取り「危険知りつつ措置怠る」1億5000万円請求

いわゆる「第4ルート」での提訴は初めて。同様の感染者の2人についても提訴を準備中。

新たに100人が提訴—東京HIV訴訟、血友病患者と遺族

提訴したのは、第8次の被害者100人。これで218人になった。これまで勝ち目がないと思っていたが、今年東京・大阪の和解勧告したことで決意した人たち。北海道、北陸、東海地方からも上がっている。

“薬害エイズ訴訟、和解勧告に拍手”

「禁煙のすすめ」

喫煙「たばこ」防止

禁煙は最良の健康持続法!!

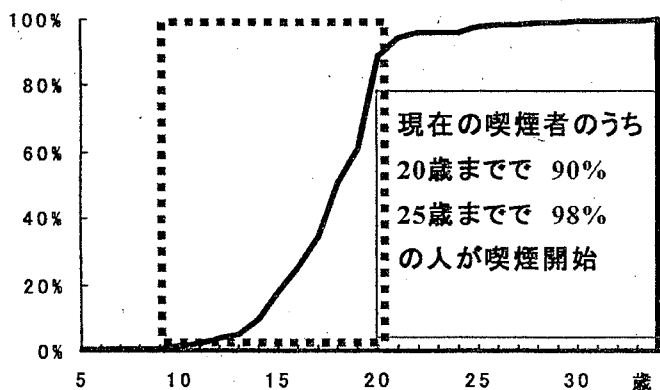
小 泉 功〔秀明大学〕

1 中高生をねらえ

タバコ会社がビジネスを続けるためには、毎年、50万人の新しい喫煙者が必要。その理由は、肺ガンで死ぬ喫煙者の欠員補充の意味があるからだ。その対象は中学・高校生達である。

だから、子どもの目につくところに広告を出し、値段も安い。それは、企業にとっては単なるビジネスなのだ。

タバコ問題は10代の問題



2 タバコの経済的なメリット・デメリット

喫煙者は、納税により社会に貢献していると主張しますが、国全体では、表（1）のようになり、2兆8千億円の赤字であり、決して貢献はしていない。むしろ自分も含めて、受動喫煙により、回りの人の健康を害している。

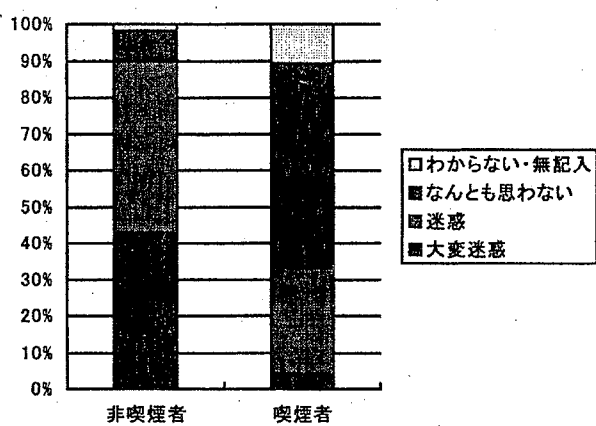
本人にかかる医療費や検査費は元より公共施設や病院などでは、喫煙者のために排煙装置や喫煙室など設備、道路・公園の灰皿設置とともにポイ捨て防止のための啓蒙活動費や吸い殻集め等にかかる費用などは膨大にかかる。

タバコ対策はタバコの猛威から国民の健康を守るだけではなく、国の経済状態をも改善する有効な政治的手段であると言える。

表（1）

マイナス	2兆8千億円
＝	5兆6千億円
たばこ産業社会コスト	2兆8千億円
たばこ産業経済メリット	2兆8千億円

受動喫煙を受けたときの気持ち



70.6%の人が受動喫煙を受けている

3 タバコ自動販売機

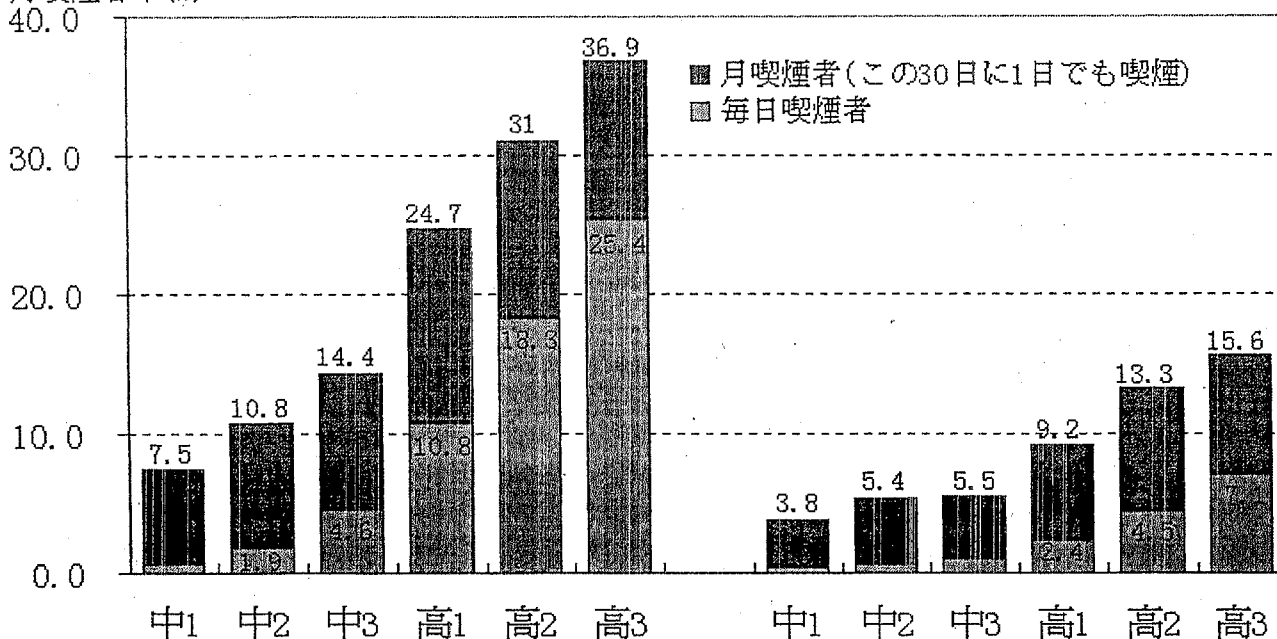
日本では「児童販売機」

日本の警察庁が2001年調査で、福島、神奈川、新潟、大阪、香川、長崎の六府県で中学生と高校生の各々2年男女計約4,000名を対象に喫煙と飲酒の経験などを無記名で調査した。

1年以内にタバコを吸ったことのあるのは、中学男子10.7%、女子6.4%、高校男子24.4%、女子12.2%で全体では、14.3%だった。飲酒は、中学男子47.7%、女子42.5%、高校男子73.1%、女子67.2%で全体では、58.7%だった。

タバコの購入場所（複数回答）については、自動販売機が、71.7%と最も多く、友だちから貰うが39.7%、スーパー・コンビニエンスストアが25.7%の順であった。酒については、家にあるが56.3%、スーパー・コンビニが35.2%、自販機が10.9%だった。

月喫煙者率(%)



【 男 子 】

喫煙の経験がある中学生と高校生の7割が自動販売機で「タバコ」を買っていることが分かる。自販機での購入割合が7年前の調査から半減した酒類に比べ、タバコの購入割合は横ばいであった。そのことを踏まえて、警察庁は、未成年者の喫煙防止を呼びかけるステッカー435,000枚を作り、販売店に年齢確認の徹底などを求めた。

酒類については酒販組合が'95年から始めた運転免許証等を差し込んで作動させる年齢確認型自販機の効果を挙げている。

そのことから、タバコ販売機においても年齢確認型自販機の導入に向けて、種子島などで試験的に進めている。

若者の喫煙者を増やしているタバコ児童販売機数の推移は、

1978年 225,891台

1997年 504,460台

過去20年間で2倍であり、年間約1万4千台ずつ増加している。

2001年は、625,900台、最近4年間台数は、年3万台の増加となっている。

【 女 子 】

海外では20年以上前からタバコの箱に「これは毒物です」の内容の文字が書いてあり、子どもへの販売に注意をはらい、その上、販売方法も子どもが買えないように工夫している国が多い。

それが、昨年からは日本のタバコの箱にも「喫煙は家族に害を与えます」「喫煙は心臓病の原因になります」「喫煙は死に至ります」「喫煙はあなたにとって肺ガンの原因の一つになります」というように銘記されは販売されている。

しかし、営利企業が作るタバコは、売りたいのであるから、中学・高校生でもよいのである。狙われているのはまさに発達途上の子供たちである。今では、女性の喫煙率が上昇中であり、特に妊産婦にとっては、胎児への影響を考えると喫煙は絶対にやめてもらいたい。

4 大切な人(親、恋人、友人、先輩など)にタバコを止めてもらうには?

「禁止ほど好奇心を引き起こすものはない。これは、いわばことさらに違背を挑発する最もたしかな方法である。」(ユング)

と、いわれるとおりに、たばこを禁止するだけでは無理である。

1) 本人に気づかせる言葉がけ

なぜ、今まで禁煙はうまく行かなかったのか。

それは、タバコの害の話ばかりして吸いたい気持ちを放置して、禁煙を進めることは、穴のあいた船に乗るようなもので水をくみ出しても沈む一方である。穴をふさげば禁煙は簡単である。箸の代わりにフォークで食べるのと同じように禁煙はできるはずである。成功率は50～60%になるといわれる。

【考えさせる言葉がけ例】

- ① タバコを吸っているのは、自分の意思ですか？
- ② 毎日タバコを吸おうと決心した日がありますか？
- ③ 自分の意思でないとすると、なぜ、毎日吸ってしまうのですか？
クセ？習慣？
- ④ 共通する満足感は何ですか？
 - ・食後の一服
 - ・酒の席のタバコ
 - ・休憩時間の一服
 - ・一仕事すませたあとの一服
 - ・きれいな景色を見ながら一服

その全てが・・・。

「もともとタバコなしでも楽しいものだということ」を、是非、気づかせたい。

2) ニコチン置換療法

ニコチン切れを抑えながら、喫煙習慣をなくしていく治療法

①ニコチネル TTS

②ニコレット (13年9月10日より市販)

など、ニコチン依存性から少しでも遠ざけるような貼り薬である。(1枚400円位)

それで禁煙に成功した人はいるが、高度依存症の人の成功率は低い。

ニコチンパッドの効用は、ニコチン補給

が途切れると約30分で細胞の機能不全「ニコチン切れ症状」→そのままニコチンの「急激で大量な補給」がなければ2～8週で病的レセプターの不活性化がおこる「ニコチン依存の仮治癒」となり、それをがんばればタバコは止められる。

未成年者は、平均5日でこの症状となる。

3) 愛情のサンドイッチ作戦

家族、恋人、友人、教師が愛情を注いでやめさせるようにし向けていくことが一番有効であるという専門家は多い。

タバコを吸わせてあげることは、やさしさではないと云う。

【有効コミュニケーション会話例】

(1) (愛情・感謝)

「パパ、今日は映画に連れて行ってくれてありがとう」

(2) (自分の気持ち「I feel」)

「今日帰りの車の中で、タバコを吸いながら咳をしていたよね？僕、最近学校でタバコがいろんな病気の原因になるって話を聞いたから、とても心配なんだ」

(3) (再び愛情)

「パパがタバコを止めて、ずっと元気でいてくれたらいいのになって思ったんだ。」

『まとめ』思いやりと親愛の情である。

それでも、大好きなものは、なかなか止められない。タバコの効用は、まやかしかだ、と気づけば、簡単に止められるはずだ。

また、子どもは、大人の言うことは聞かないけれども、真似をするものである

子どもたちを守るために、どうすべきか考えて行動したい。

★学内禁煙の大学が全国約40校になる

(筆者が勤務する大学も罰則を設け、今年4月より学内と近隣地域を禁煙とした。)

「タバコは広告媒体伝染病」
(WHO プルントラント長官談)

J T の広告宣伝費

1964 年：約 2 億円

1999 年：1414 億円

2000 年：1715 億円

2001 年：2100 億円

約 40 年間でなんと 1050 倍！

タバコ 1 箱千円ならやめられる！

(京都大学研究グループ調査)

喫煙を減らす有効な手立ての一つとして、その値段にあると思われる。海外のタバコの値段は高く、5 年前の世界のタバコ一箱 20 本入りの値段は、スイス (315 円)、フランス (360)、イギリス (670-740)、アメリカ「カリフォルニア」(435-550)、ニュージーランド (500)、である。

今年になって、京都大学の研究グループが、喫煙者対象に 1 日当たりの本数や起床後にタバコを吸うまでの時間などからニコチン依存度を低・中・高度に分類して調査。

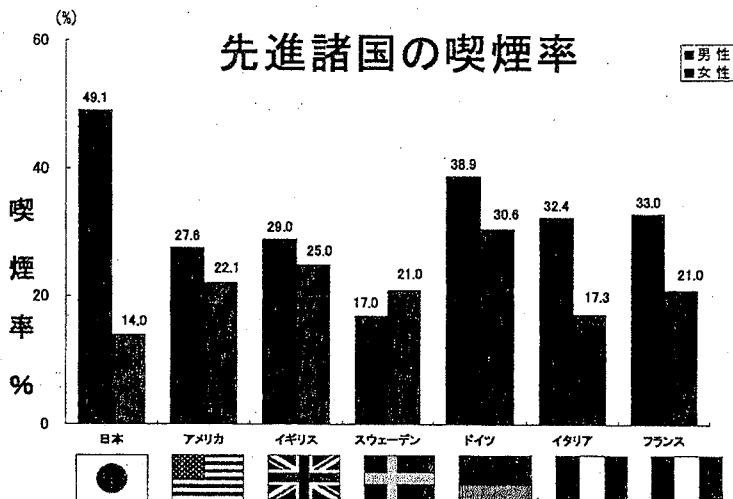
タバコ 1 箱の価格や路上喫煙への罰金の有無、家族の肺ガンのリスク情報などと、禁煙に対する動機付けをアンケートした。

その中で、罰金や健康へのリスク情報は、低・中度依存者には禁煙の動機付けになる一方、高度依存者には、ほとんど効果がなかった。しかし、1 箱当たりの価格を 2 倍の 600 円にするなら低度 80%、中度 60%、高度 30% が「タバコをやめたい」と回答。1000 円では、いずれも 9 割以上が「禁煙を決意する」という結果であった。グループ代表依田京大教授は「禁煙者を増やすためには、タバコの値段を大幅に引き上げることが有効」と言う。

この調査で健康のために禁煙しようと思っても禁煙は困難なことで過半数の喫煙者が禁煙・節煙を望んでいることが分かる。

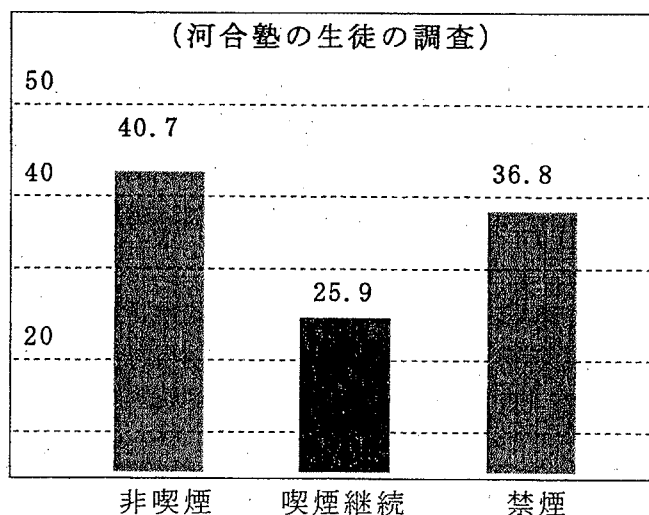
喫煙は自由意志に基づくものではないという証拠である。

タバコは「麻薬」であり決して「嗜好品」ではない。メタボも喫煙が大きな原因に挙げられている。その予備軍に生徒達がならないためにも国を挙げて取り組みたい。まずは、学校教育に一工夫がほしいところである。



日本の女性の喫煙率が今は、14.6%であるが、現在急上昇中である。2 年後には、20%位になるといわれる。喫煙は母体への悪影響 NO1 である。禁煙あるのみ。

禁煙と大学合格率 2004 磯村



【参考資料】藤沢市保健所・日本赤十字社和歌山・千葉労災病院・河合塾・首都大学星教授資料

東京都高等学校性教育研究会会則

第一章 総 則

第1条 本会は、東京都高等学校性教育研究会と称する。(略称 高性研)

第2条 本会は、高等学校における性に関する指導を重視し、その必要性を認識するものによって組織され、次の事項を目的として活動する。

- 1 学校教育における性教育の在り方、進め方に関する実践的な研究を行う。
- 2 性教育を通して、生徒の健全育成に関する研究を行う。
- 3 人間の性に関する研究を行う。

第3条 本会は、第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 研究協議・講演会・公開授業などの開催
- 2 調査研究、情報収集
- 3 各種機関・団体との連絡・連携
- 4 研究集録
- 5 その他

第二章 組 織

第4条 会員は、都内の高等学校教職員及び第2条の項目に賛同する者をもって組織する。

第5条 本会は、次の役員を置く。

会長（1名）

副会長（若干名）

常任理事（若干名）

理事（若干名）

事務局長（1名）

会計（2名）

会計監査（2名）

第6条 役員の選出は、総会において行う。

第7条 役員の任務は、次のように定める。

- 1 会長は、本会を代表し、会務を統括する
- 2 副会長は、会長を補佐する
- 3 常任理事・理事は、会務を処理する
- 4 分掌は、事務・会計・調査研究・広報の5部門を置く

5 会計は、経理を担当する

6 会計監査は、本会の会計について監査を行う。

第8条 役員の任期は、2年とする。但し、再任は妨げない。

第9条 本会には、顧問を置くことができる。

第三章 会 議

第10条 本会の会議は、総会・定例会・理事会及び各部会とする。

第11条 総会は、会長がこれを招集し開催する。

第12条 総会は、毎年1回開催する。但し、必要のある場合は、臨時に開催することができる。

第13条 総会に付議する事項は、次のとおりである。

- 1 事業計画の決定
- 2 予算及び決算の承認
- 3 役員選出及び承認
- 4 会則の変更
- 5 その他の重要事項

第四章 会 計

第14条 本会の経費は、本会の活動の主旨に賛同する団体および個人における会費をもって、これに充てる。

第15条 会計年度は、毎年4月1日より翌年の3月31日までとする。

第16条 本会の会費は、学校単位とし、年額は次のとおりとする。

- ・ 全日制 2,800円
- ・ 定時制 1,400円
- ・ 個人 2,000円

第五章 付 則

第17条 本会の事務局は、事務局長の現任校に置く。

第18条 会則は、平成元年4月1日 一部改正
平成18年6月23日より施行する。

平成18年度役員（◎は責任者）

会 長	神取 豊夫 (都立城東高等学校長)
副会長	竹内 章 (都立千歳丘高等学校副校長) 井口 一成 (都立向島工業高等学校副校長)
事務局長	◎山田 智美 (都立世田谷泉高等学校教諭)
同 副	高梨 昭 (都立科学技術高等学校教諭)
会 計	◎榎 茂喜 (都立世田谷泉高等学校主幹) 渡邊 志織 (都立第一商業高等学校教諭)
会計監査	柳瀬 さち子 (都立農芸高等学校養護教諭) 林 美智子 (都立向丘高等学校養護教諭)
調査研究部	◎田原 正之 (都立墨田川高等学校教諭) 荒木 卓也 (都立上水高等学校教諭)
広報部	◎川端 洋介 (都立六本木高等学校主幹) 早川 美咲 (都立上水高等学校教諭) 井出 知子 (都立足立東高等学校養護教諭)
理 事	柴崎 英樹 (都立葛飾地区総合学科高等学校 開設準備室副校長) 尾崎 武彦 (都立つばさ総合高等学校教諭) 相川 玲 (都立葛飾商業高等学校教諭) 山元 和三 (都立大森高等学校教諭) 井谷 亨 (都立三田高等学校)

研究紀要誌「あふるる」投稿規定

1：執筆要項

- (1) 横書き、20字×20行、縦割り2段組とします。段組の間を2文字分空けてください。
- (2) 表題と本文の様式や書き出しの行は特に規定しません。
- (3) ページ数は4ページ以内を原則とします。
- (4) 原稿は、フロッピディスク（ワードまたは一太郎）とプリントアウト原稿1部をご提出ください。なお、ご提出されたフロッピディスクは返却できませんので、ご了承ください。

2：提出先

事務局宛にご提出ください。
(期日につきましては別途連絡いたします)

【事務局及びお問合せ先】

〒157-0061

東京都世田谷区北烏山9-22-1

東京都立世田谷泉高等学校

保健体育科 山田 智美

TEL 03(3300)6131

あとがき

東京都高等学校性教育研究会
副会長 井 口 一 成

生徒を取り巻く社会環境は、不況による親のリストラ、少子化による子どもへの過剰な期待、親子・友人関係の希薄化など劣悪化し、少年犯罪、性感染症、学校でのいじめによる自殺などの増加で、生徒の身体やこころの健康に様々な影響を与えている。

そのような状況の中で、生徒の性に関する教育は、家庭・学校・地域社会・職場教育がある。

家庭教育は多くの場合は、親が自分の子供に対して自由な意図で教育できる。

学校教育は教員が他人の子に対して一定期間・集団的・個別的に教育を行う。そのため教員は個人的な見解や意図によって自由に教育することはゆるされない。公教育においては法令等に則って教育が行われなければならない。

地域社会は行政機関や保健医療機関、民間団体が住民のニーズに応じて教育の場を提供して住民に対する啓発活動を行なっている。また、住民の自発的な学習グループやサークル活動もある。

職場教育は企業主や従業員の意識改革や人材開発を目的として教育を行ったり、従業員や家族の福祉活動のための教育を行う場である。

特に、学校における性教育は、児童・生徒の人格の完成を目指す「人間教育」の一環であり、豊かな人間形成を目的に、「生命の尊重」「人格の完成」「人権の尊重」などの根底を貫く精神である人間尊重の精神に基づいて行われなければならない。

そのため、性教育は人間の性を人格の基本的部分として『生理的』『心理的』『社会的』などから総合的にとれえて指導す

ることが大切である。

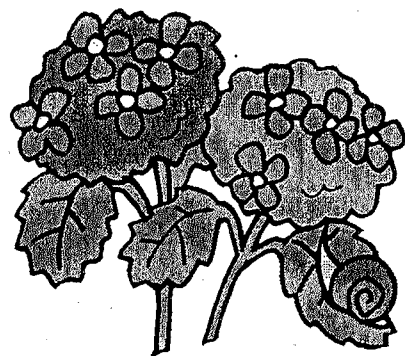
学校における性教育は、

- ① 発達段階に即した内容であること。
- ② 教育的に価値があること。
- ③ 家庭・地域の理解が得られる内容であること。
- ④ 公教育では法令等に即して教育が行われること。

などがある。

近年は性教育パッシングといわれてから熱心に性教育を自信を持って指導する先生がたが減少したことは事実である。

もう一度、目の前にいる生徒や自分のためにも学校における性教育の研修をしましょう。



東京都高等学校性教育研究会

発行責任者 会長 神取 豊夫

発 行 平成19年6月21日